

第51回総会は7月1日 同窓会をより身近な存在に！

同窓生プロミュージシャンの演奏



荻原松美氏

窪田健志氏



宮原巍氏

ネパール在住46年 宮原巍氏の講演

関東同窓会は7月1日(日)、千代田区一ツ橋の如水会館で第51回総会を開催します。今年のイベントはネパールに魅せられた宮原巍さん(50期)の講演と、同窓生ミュージシャンの荻原

松美さん(85期) 窪田健志さん(99期)ら3人による軽音楽演奏です。若いころ南極観測隊やヒマラヤ登山隊に参加した宮原さんはネパール在住46年。現在はヒマラヤ観光開発(株)の代表取締役で、ホテル・エ

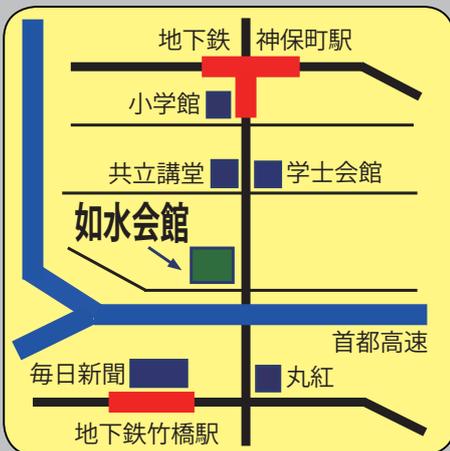
ベレスト・ビュなどを経営しています。総会では「ネパール半世紀の変遷」と題して講演します。

荻原さんらのトリオは今年1月に東御市で開催されたニューイヤークンサートでも共演。窪田さんは2年前の関東同窓会総会のマリンバ演奏で大好評を博しており、フルート奏者の西田紀子さん(荻原氏夫人)を加えた3人の息の合った演奏は大いに楽しみです。多数の参加をお待ちしています。

- 【日時】 7月1日(日)
12:45 受付開始
13:30～17:30
講演会、総会、演奏会
懇親会(ビュッフェ形式)
- 【会場】 如水会館(☎03-3261-1101)
千代田区一ツ橋2-1-1
- 【会費】 6,000円
107、108、109期は2,000円
110期は無料(予約申し込み必要)

【交通】

- 地下鉄三田線・新宿線・半蔵門線の神保町駅下車
A8、A9出口 徒歩3分
- 地下鉄東西線竹橋駅下車
1b出口 徒歩4分



会場では会員の作品展示、頒布も実施します。書籍、写真、随筆、紀行文、手工芸品などの出品、班活動、同窓会・同期会・同級会活動の記録などの展示を歓迎します。

【申込み・問い合わせ先】 上原昇 (65期)

電話 048-641-7749 080-1020-0361 E-mail: n-uehara0816@spa.nifty.com

幹事長候補に

丸山暢久さん(65期)

2009年から幹事長を務めてきた栗山正雄氏(62期)が今総会で3年の任期を終えます。執行部が後任の選考を進めた結果、丸山暢久副幹事長が内諾され、4月24日の幹事会で了承されました。総会の承認を経て、新幹事長に就任します。

丸山さんは信州大学工学部卒業後、シエール石油(現昭和シェル石油)に入社。プラント建設などの分野で活躍し、関係会社の取締役などを歴任しました。



き戸感っていますが、様々な課題の解決に向け、微力ながらお手伝いさせていただきます。」と話しています。

アクションプランを策定

IT活用など5つの柱を具体化へ

会長 滝澤 進（61期）



まず、2012年度通常総会へ1人でも多くの皆さまのご出席をいただきたく、お願い申し上げます。

昨年度の総会以降、関東同窓会の素晴らしい伝統を守りつつ、より身近な同窓会への展開を図るべく、役員一同一丸となって、検討を続けてまいりました。

その答えの1つが、上田高校関東同窓会「アクションプラン2012」で、ITの活用方策を含め5本の柱からなります。会員の皆さまのご協力をいただきながら、準備が整い次第、逐次具体化につなげていきたいと思っております。

今回の総会では、栗山正雄氏の後任として丸山暢久氏（65期）を新たな幹事長の候補としてご提案いたします。栗山氏のこれまでのご尽力に心から感謝申し上げます。

アクションプラン2012の内容

IT企画運営委員会の報告やテーマ推進検討委員会各部会の報告を踏まえ、上田高校関東同窓会「アクションプラン2012」を策定した。

統一テーマは「同窓会をより身近な存在に」。

各プランごとに具体化のための実行委員会などを設置し、準備が整い次第、逐次実行に移す。

▼アクションプラン1

情報提供の推進（ITの活用）

①狙い ITの活用により、会員

・HPにブログ形式の会員間の情報交換機能を付加する。

④推進体制 IT推進委員会（委員長は幹事長）を設け、「HP運用管理チーム」の組織化と立上げ後の活動支援を行う。

▼アクションプラン2

若手会員の取り込み

①狙い 若手会員の取り込みを進め、若手会員層の組織化・増加を図る。

②現状 若手同窓生の同窓会への関心が低く、会員数も少ない。

③具体的な活動

・幹事不在期については、幹事代表幹事の選出を働きかける。そのため役員の中から期ごとの担当を決めてアプローチし、キーパーソンを発見する。当面、89期（40歳）から70期（59歳）を対象とする。

・総会実行委員期に当たる機会などをとらえ、幹事を軸に期ごとの横の連携を強化する。本年は65期が、70、75、80、85期に働きかける。

・65期から69期で「筆頭幹事連絡会」を設け、組織化対策を実行する。

・若手を中心とした交流会、新入生歓迎会、若手と同窓会幹部との懇談会などを開催。会報、ITなどを活用し、若手に積極的に働きかける。

・総会が若手に魅力ある場となるよう工夫する。

・運動班、理科系班、吹奏楽班などの高校OB人脈の活用、同一産業分野でのOB名簿作りなどにより、

同窓会人脈を構築し、効果的活用を図る。

④推進体制 「若手会員対策実行委員会」（委員長・上原副会長）を組織する。

▼アクションプラン3

学生会員の社会デビュー支援

①狙い 「社会デビュー支援」を同窓会として行うことにより、若手会員の同窓会活動への関心を高め、掘り起こしを図る。

②現状 大学生層の同窓会への関心は極めて低く、総会への出席者数もほとんどない。

③具体的な活動

・学生会員と社会人会員による「学生会員の社会デビュー」をテーマとした交流の場を設ける。（個別訪問・面談、合同相談会、社会講座、新入歓迎会、先輩・後輩交流会など）

・個別相談・面談については、学生会員から希望を受け付けるとともに、協力社会人会員を登録する。告知・案内は会報、HP、母校新聞、各種会議などを通じて行う。希望学生会員と協力社会人会員のキャリアとのマッチング方法を検討する。

・「支援事務局」を設け、学生に対する窓口とする。

・今年の総会は、新入会員は参加費無料とし、歓迎の場を設ける。

④推進体制 「社会デビュー支援活動委員会」（委員長・栗山副会長）を組織し、活動の企画推進を行うとともに、内部組織として「学生会員

支援事務局」（事務局長・丸山洋一副幹事長）を設置して活動する。

▼アクションプラン4

会員交流の推進

①狙い 会員交流を推進する。

②現状 総会、新年会、ゴルフ同好会（年2回コンペ）などの場に限られている。

③具体的な活動

・会員から講師を選定し、有料の定期的な懇談会開催を検討する。

・会員間の交流促進の一環として、同好会の組織づくりと活動を支援する。中核となる会員の協力を得て、HP、会報などで呼びかける。

・同好会に対する支援のあり方を検討する。

・「俳句同好会」が具体的に提案されている。

④推進体制 「会員交流推進委員会」（委員長・小松副会長）を組織する。内部に「懇談会を実施する部会」と「同好会を支援する部会」を設ける。

▼アクションプラン5

女性会員交流の推進

①狙い 女性層の取り込み。

②現状 女性同窓会の開催も途切れている。

③具体的な活動

・「女性同窓会実行委員会」（委員長・水島副会長）を設け、第6回女性同窓会を今年10月に開催する。

④推進体制 「女性会員交流推進委員会」を組織する。



新年会に過去最多の105人

黒坂さんのコカリナ演奏と男声合唱



黒坂黒太郎夫妻のコカリナ演奏

関東同窓会の新年会が1月19日夕、千代田区二ツ橋の日本教育会館で開かれた。今年のアトラクションは黒坂黒太郎さん(66期)のコカリナ演奏と「アンサンブルステラ」の男声合唱。新年会としては過去最多の105人が参加し、コカリナの美しい音色とシニア合唱団のハーモニを楽しんだ。

黒坂さんは日本にコカリナを広めた第一人者。東日本大震災後は各地で被災地支援コンサートを続け、1月7日にはウィーンで支援感謝コンサートを開催。石巻市の松で造ったコカリナで被災地の小中学生とともに「浜辺の歌」などを演奏し、大喝采を浴びた。



アンサンブルステラの男声合唱

この日は夫人の矢口周美さんがボーカルとオートハープを担当。「木立を抜ける風の音」「アメージンググレイス」などの演奏が終わると、大きな拍手が会場に鳴り響いた。

西東京市を活動拠点とするアンサンブルステラには代表の倉島彰さん(54期)ら上田高校同窓生5人が参加。「みすずかる」などの合唱を披露した後、参加者全員で「ふるさと」を歌った。

この後、立食形式の懇親会に入り、参加者がグラスを傾けて歓談。7月の総会で実行委員を務める65期、70期の代表が登場し、宮原豊実行委員長(65期)が総会の成功に向け、決意表明した。

第51回総会での 講演者、演奏者の略歴

【講演者】

宮原巍さん(50期)

青木村出身。日大理工学部卒。第4次南極観測隊、ヒマラヤ登山隊参加。69年ヒマラヤ観光開発(株)設立、代表取締役。2005年ネパール国籍取得。06年「ネパール国土開発党」設立、総裁。著書に「ヒマラヤの灯」「選歴のエベレスト」など。

【演奏者】

荻原松美さん(85期)

北御牧村八重原出身。国立音大卒。打楽器奏者。シエナウインドオーケストラ所属。小諸高校非常勤講師。

窪田健志さん(99期)

上田市蒼久保出身。東京芸大大学院卒。打楽器(マリリンバ)奏者。名古屋フィルハーモニー交響楽団所属。

西田紀子さん(荻原松美氏夫人)

岐阜市出身。東京芸大卒。ピッコロ・フルート奏者。シエナウインドオーケストラ所属。小諸高校非常勤講師。

ホームページをリニューアル

トピックス一覧、ブログ形式を採用

IT委員会では昨年9月から現在のホームページ(HP)を見直してきました。

HPで問われるものとしては、まず情報が新鮮で見やすいこと。そのためトップページで「トピックス一覧」を表示し、トピックスの詳細が見やすくなりました。

次に、要望の高かった会員同士の情報交換ができるように「ブログ形式」を採用しました。世に流行っているフェイスブックやツイッターへもリンクできます。

ブログ形式の情報交換は初めての試みですが、投稿には一般メールの送信要領で「投稿用メールアドレス」で文面、画像を送信します。投稿された情報のコメント欄に感想、意見を入力すると意見交換ができます。会員として良識ある投稿とコメント入力で活発な意見交換を期待し

ます。

今後、HPを同窓会活動と一体化して運営するために、運営管理チームで組織的に対応することになります。執行部のもとに責任者と実務担当者数人のチームを編成し、HPのお守り、利用状況や投稿内容の監視、会からのお知らせ情報の整理などを定期的に行います。

各同期会や班OB活動などのHPとのリンクは現行の通り継続しますが、各HPの運営管理については当運用管理チームが各HP担当との間で調整していきます。

関東同窓会の新HPアドレスと投稿用メールアドレスは公開準備ができ次第、ホームページなどを使ってお知らせします。

—IT企画運営委員長
笠井徳爾(61期)

母校の伝統を次の世代に



坂口美加 (87期)

となったとき、卒業して20年以上経た今でも歌える自分に少々驚きながら会は終わりました。

昨年仕事を辞めたことから、仕事を問わず母校というつながりで懐かしい誰かと会えるかも…という思いもあつての参加でしたが、同期はゼロ、同世代も数えるほどで、若干の寂しさを感じました。私は海外に行く機会が多いので

ネット活用で若い息吹を



林 啓太 (96期)

すが、2月は20年ぶりにイングラウンドを訪れました。そこで目にしたのは、オリンピッククイヤーでもあり確実に進化しながらも、古き良き伝統を守り続ける姿でした。わが上田高校も、年輩の方々が礎を築いてくださり、新しい世代が支え、次の世代に継いでゆく…。若い世代の皆さん、ぜひ気軽に同窓会に顔を出してみてください。きっと母校の伝統を誇りに感じることを思います。一緒に「古城の門

「若い世代がない」。

これが1月に東京で開かれた関東同窓会の新年会に参加した際の率直な感想だ。105人の参加者のうち40歳以下は私を含め3人だけ。今までお目にかかったことのない剣道班の先輩方と出会うなど有意義な時間だったが、一抹の物足りなさも残った。40-20代は働き盛りだ。新年会があつたのが平日の夜だったため参加を見合わせた方もいた

だろう。だが、根本的な原因は別にあると思う。われわれ若い世代が淡泊な人間関係を望むようになってきていることだ。上田高校の同窓生である、という理由だけでなぜ、見も知らぬ参加者がほとんどの会合に定期的に出る必要があるのか。「母校への誇り」とか「伝統を守る」といった言葉に胸を熱くする人は残念ながら、若い世代にはほとんどいないと思う。私の場合も班活が同じだった級友と年に数回会う程度。前回の新年会に参加したのは、新聞記者の職業柄、同窓会にどんな人が集まるか興味を持ったことと、会場がたまたま職場の近くだったことが

理由だったにすぎない。

ただ、同窓生という理由だけで、さまざまな世界で活躍されてきた先輩方と知り合えたことは新鮮な体験で、母校の伝統を見直す契機になった。今は、同窓会の絆を後の世代につなげていくことの大切さを実感している。若い世代を同窓会にどう呼び込むか。同窓会を、仕事のつながりがある人や同じ趣味を持つ仲間同士が、垣根を低くして

つながり合える場として再定義することが有効だと考える。

そのためには、フェイスブックといったインターネットの交流サイト(SNS)に同窓会のページを立ち上げるなど、若い世代が使う媒体を積極的に活用することを提案したい。SNSで日常生活に役立つ出会いを提供することが、逆に伝統や母校への誇りを見直してもらおう契機になると思う。

東京で初のミニ同級会

79期3組



昨年は高校卒業30周年、また今年は50歳になる区切りとして、4月14日に関東同窓会で連絡がつく12人中9人(女性2人)が新宿・歌舞伎町に集まり、東京では初のミニ同級会を開催しました。知るにつれて皆それぞれの立場で頑張っている様子に大変よい刺激も受けました。

最後に、これを機に今後も関東での交流を継続させ、また今年夏に上田で久々に開催される予定の同級会での再会を誓ってお開きとなりました。

荻原 貴(79期)

若い世代から

1月には関東同窓会の新年会に初めて参加させていただきました。コカリナ奏者の黒坂黒太郎さん(66期)による美しく透明感のある演奏、倉島彰さん(54期)らによる男声合唱の力強い歌声で始まり、いろいろな方々とお話ししながらの立食。そして校歌をみんなで歌うこと



上田ゆかりの偉人

がん研究の先駆者 山極勝三郎

和田智晴 (51期)



上田市立博物館蔵

1966年、世界がん学会出席のため来日したノーベル賞選考委員でスウェーデンの王立カロリンスカ研究所名誉教授のフォルケ・ヘンシエン博士は山極博士の研究に対し「当然、賞を贈るべきだった」と言いつつ、悔恨の意を表した。賞の選考過程で委員の中から「東洋人には時期尚早だ」との意見が出され、会場がどよめいたこと。ノーベル賞の選考にもそんな人種偏見があったのか。そういう驚きの声だった。

山極勝三郎は1863年(文久3年)、上田藩士山本政策の3男として生まれた。16歳の時、恩師正木直太郎の勧めで、上田藩元御典医の山極吉哉の養子となり、当時東京へ移住していた山極家に入った。

1888年(明治21年)に東京帝大(現東京大学) 医学部の本科をトップの成績で卒業後、ドイツに留学。帰国後、東京帝大の病理学教授に就任している。

世界の医学者「ドクター・ヤマギワ」が上田市で生まれ、上田高校の前身である上田変則中学校の出身であることを知る人は意外に少ない。勝三郎は信州が生んだ偉大な先輩であり、近代日本をつくった科学者の十指に入る人物と言えよう。まさに「世界のヤマギワ」である。

上田城跡公園近くに、山極勝三郎が夢を追い少年時代を過ごした生家(茶室)がある。「丸山邸」からは約1.5キロ東の場所だ。

ノーベル賞にも間違いはある。1926年度医学生理学賞がその代表だ。ネズミにゴキブリを食わせて胃がんを作ったとするデンマークのフィビガーと、ウサギにタールを塗り続けて皮膚がんを作った山極勝三郎。2人が最後に残った候補者だった。ノーベル賞はフィビガーに与えられた。しかし2人の死後、「ネズミの胃がん」は、がんではなかったことが判明する。

湯川秀樹の受賞より23年前の、幻のノーベル賞であった。(98年10月14日の朝日新聞)



山極勝三郎の生家の一部(茶室)

和田智晴氏所有

上田城跡公園近くに、山極勝三郎が夢を追い少年時代を過ごした生家(茶室)がある。「丸山邸」からは約1.5キロ東の場所だ。

赤松小三郎記念館オープン

丸山邸、平八郎茶屋も



赤松小三郎記念館



平八郎茶屋

上田市の北国街道沿いにある「丸山邸」に3月24日、「赤松小三郎記念館」と「平八郎茶屋」がオープンした。

丸山邸は当窓会の丸山瑛一相談役(51期)と丸山俊二氏(54期)の実家で、山田洋次監督の映画「たそがれ清兵衛」のロケ地になったことで有名。昨年11月の火事で土蔵などを焼失したため開館が遅れていたが、このほどやっと完成し、上田の新しい観光スポットとしてデビューした。

赤松小三郎記念館には京都から移した赤松の墓石、功績を紹介するパネルなどを展示している。

平八郎茶屋は、上田城を買って上田町に寄贈した材木商、丸山平八郎(11代-12代)にちなんで名付けられた。屋内には飲み物、おはぎなど提供する部屋や、上田にちなんだ商品の販売コーナーなどがある。開館は土日と祝日の午前11時から午後4時までで、入館は無料。

同窓生の本がベストセラーに

中村仁一さん (56期) の新書

同窓生が上梓した新書が今、ベストセラーとなっている。『大往生したけりや医療とかかわるな』(幻冬舎新書 760円)。書店で平積みになっている過激なタイトルに引かれ、本を手にした人も多いだろう。販売部数は44万部を超えた。

著者は内科医の中村仁一さん。京都大学医学部を卒業し、財団法人高雄病院院長、理事長などを経て、現在は京都市の社会福祉法人老人ホーム「同和園」付属診療所の所長を務めている。

最後まで点滴注射も、酸素吸入もしない数百例の「自然死」を見届けてきた中村さんの持論は「死ぬのはがん死に限る」。本書では、多数の老人を取った経験をもとに、死に時を自分で決めることができる「がん死のすすめ」を説いている。



最後まで点滴注射も、酸素吸入もしない数百例の「自然死」を見届けてきた中村さんの持論は「死ぬのはがん死に限る」。本書では、多数の老人を取った経験をもとに、死に時を自分で決めることができる「がん死のすすめ」を説いている。

その他の同窓生の新刊図書一覧 (定価は外税)

『現場カイゼン』

今井正明 (48期)



日本経済新聞 出版社 2800円

お金をかけテクノロジーを使うのが一般的な海外に向け、日本の経営の神髄「カイゼン」を著者が英語で紹介した本の日本語版。

『風に向かって走れ』

和田 裕 (48期)



文芸社 1500円

和田家3代の歴史のほか、上田中学時代のこと、大阪万博発案のいきさつ、武器輸出解禁の秘話など中味が濃く、読ませる一冊です。

『タニタ式カラダのひみつ』

池田義雄 (51期)



三笠書房 980円 (税込)

池田ドクターが、「タニタ食堂」と「タニタのレシピ」のひみつを大公開。この本で、あなたの家が「タニタ食堂」に変わります。

『ベルリンの壁とヨーロッパ鉄道の旅』

鎌野秀嗣 (51期)



中央公論事業 出版 1200円

インターネットで欧州の鉄道時刻表を調べるガイドになっています。筆者がベルリンの壁を回る話など旅行体験も書いてあります。

『あぜみち逍遥』

横島庄治 (56期)



環境システム 研究会 1800円

元NHK解説員の横島さんが上州高崎に居を移してから15年。折々に書き留めたエッセーをまとめました。

『花のお江戸で』(改訂版)

赤池三男 (58期)



ストーク 1429円

大望を抱いて信州を出た木っ端役人が花のお江戸で出遭ったものは…。笑って、怒って、涙したものを、ときには自虐的に綴った。

『音符順 常用漢字学習字典』

石沢誠司 (60期)



石沢書店 4000円

上海師範大学で日本語教師をしていた著者が、漢字を読めるけど書けない人のために、漢字音符を集大成した漢字学習字典を出版。

『まぼろしのノーベル賞 山極勝三郎の生涯』

神田愛子 (65期)



国土社 1500円

第1次大戦中、世界で初めて人工的にガンを発生させる実験に成功した日本人がいた。ノーベル賞の最終選考にも残ったのだが…。

『ちいさなおばけちゃんくるまいますのななちゃん』

服部みどり (81期)



あけび書房 1400円

人の優しさや思いやりとは何かを、そっと教えてくれる心温まる絵本。服部さんの造形が見る人の心をより一層温かくします。

『羊毛フェルトのもこもこ子犬』

服部みどり (81期)



主婦の友社 1680円(税込)

原毛を針でちくちく刺すだけでキュートな子犬が作れちゃう。トイプードル、柴犬、ダックスの3匹が作れる材料キット付き。

『宇宙に外側はあるか』

松原隆彦 (83期)



光文社新書 780円

「なぜ宇宙は存在するのか」と誰もが一度は考えたことのある問いについて、現代物理学の視点からわかりやすく解説しています。



関東五四期会が新春懇親会

倉沢医師が亜鉛欠乏症について講演

3月1日、関東五四期会はホテル・フロラシオン青山にて恒例の新春懇親会を開催した。昨年10月に軽井沢で卒業55年の記念総会を開催したこともあり、例年に比べて遅い開催だったが、関東会員45人のほかに本部から倉沢隆平会長、小山盛夫元会長らが参加した。懇親会に先立ち、倉沢会長（東御市立みまき温泉診療所顧問）による「亜鉛欠乏症の臨床と疫学」

と題する講演が行われた。10年以前から「多くの医師が考えているよりもはるかに多くの亜鉛欠乏症がいること」に気付いた「亜鉛欠乏症のホームページ」を立ち上げ、その啓蒙に努めるとともに、地道な臨床結果や疫学的調査データを分析・実証してきたが、まだまだ亜鉛欠乏症の臨床には分からないことも多く、正式な保険収載もない現状を細かに説明された。

高度に専門的な問題でもあり、医学的知識にうとい素人が十分理解できる範囲は限られてはいたが、後期高齢者の入口に立つわれわれにとつて身近な症例がかなりあり、活発な質疑応答が交わされて大変有意義な講演であった。

医師倉沢先生としての講演のあと、五四期会仲間倉沢君としての新会長のあいさつがあり、卒業60年記念の総会開催を目標にして頑張っていきたい、新たにPCネットワークを有効に使う五四期会会員相互の連携をより強固なものにしていきたいとの抱負を披露した。

続いて、信州からわざわざ駆けつけてくれた諸兄の紹介とあいさつ、そして信州上田藩が生んだ幕



末の政治思想家、兵学者の赤松小三郎の記念館を上田城址近くの丸山邸「木屋平」（51期丸山瑛一氏、54期丸山俊二氏の実家）に造る企画が昨年の火災により計画変更を余儀なくされ、多額の自己資金が必要になったための賛助会員募集の要請があった。

「亀齡・生」が並び、盛上がり大きく貢献した。恒例の校歌と凱歌斉唱では藤村延魚、山口正義両君が壇上で年齢を感じさせない元気を披露してくれた。

お開き一本締めのはげ声は黒川次郎君が行い、再会を約して散会した。万年世話役の馬場武彦、倉島彰、市河富弘の3氏には、来年もまたよろしくお願いする次第である。

中村忠勝(54期)

「苟日新日日新又日新」

上田城跡公園内の手洗盤の銘文

上田中学に入つて間もなく、国漢の授業で伊藤定朝先生が「上田城の中にある手洗盤に『苟日新日日新又日新』と刻んであるのを知っているか」と言われたことがあります。上田城の近くで生まれ、城内の公園が子供たちの絶好の遊び場だったので、この手洗盤の水

を竹の杓でよく飲んだものです。当時は何が刻んであるか知りませんでした。伊藤先生から「これは中国の文面からとつたものである」と教えられました。

この手洗盤は明治12年に建立されました。裏面には奉納した当時の町の有力者（龍野庄蔵、工藤佐太郎、篠澤文太郎、丸山平八郎、手塚半右衛門、金井文三郎、瀧澤民之助、水野重助、小川七兵衛、飯嶋七郎兵衛、倉嶋全兵衛）の名前が刻んであります。



上田城跡公園内にある手洗盤

皆さんは手洗盤の銘文を何とお読みになりますか。私もわからなかったもので、出典となる儒教の「大学」を図書館で借りて調べてみました。

「湯の盤に曰く、苟しみて日に新たに、日に新たに、また日に新たに」。政をなす者は日々、その身を沐浴して、自ら心身を新たにし、正しい気持ちで臨まねばならぬ、という教えです。湯は殷王朝を創始した湯王、盤は沐浴に使う水盤のことです。

当時の町の有力者たちが「大学」の中に出てくる言葉を刻んで寄付されたことに敬意を表します。郷里に帰り、上田城を訪れた際には、この手洗盤に多くの方々の深い祈りが込められていることを知っていただきたいと思います。

宮下俊夫(41期)

鍛造・熱処理・機械加工の一気通貫の部品生産により
建設機械・産業車両メーカーから好評を頂いております

株式会社 コミヤマ

取締役営業部長 小宮山 始 (73期)

〒384-0083 長野県小諸市大字市950番地
Tel 0267-22-2311 (代) Fax 0267-22-2313

初めて全クラス参加

64期が同期会

第6回の64期関東地区同期会は2月18日(土)、千代田区内幸町のレストラン「ライン」を借り切って開かれ、28人が参加しました。6回目にして初めて1組から9組まで全クラスからの参加があり、素晴らしいことです。高校卒業以来初めて会う仲間もあり、午後2時から5時過ぎまで懇親しました。

第2回もこの店で行い着席でしたが、今回は自由に交流できるようにと立席にしたため、懐かしそうに話す輪がたくさんできました。



関東地区同期会を提案され、第1回から毎回世話人をしていただいている4組の竹内中和さんと高梨芳男さんには感謝申し上げます。

例年この時期に行っているのですが、まだご存じのない方もお気軽にご参加ください。

2次会には10人が新橋駅前のカラオケボックスに移り、さらに盛り上がりしました。

石井則男(64期)

67期が上田で還暦記念同期会 恩師5人も参加



「何組の誰だっけ？」がまず、あいさつ代わりに交わされました。去る4月22日、上田東急インで開催された67期の還暦記念同期会(先生方を除いた参加者60人)でのことです。ただし、臨席いただいた丸山正人(3組担任)、小林武(4組)、矢島薫(5組)、菱田宏(7組)、荻原剛(9組)各先生と、同期の女性は男性にはすぐに分かりました。

67期は上田から出ることなく暮らした仲間に音頭をとっていただきます。同期会の開催は頻繁に行っています。例えば、1999年には

卒業30周年記念事業を立ち上げ、募金を集めて学校に綴帳を寄贈し、さらに上田高校創立110周年にも募金を集めました。

本来は昨年春に還暦記念の同期会開催を予定していましたが(幹事は4組の金井俊樹、3組の沓掛重憲君)、例の東日本大震災の発生のため延期せざるを得ず、今回の運びとなりました。

また、前日には9組の酒井幸男君が幹事となり、望月東急CCで15人を集め、ゴルフコンペも開催しました。

私たちは歴史的な1969年3

月に高校を卒業しました。あの全共闘が東大安田講堂を占拠して東大入試が中止された年です(詳しくは紐秀実『革命的な、あまりに革命的な』1968年の革命史論』参照)。

その後、私どもは挫折を繰り返しながら、なんとか生き抜きました。これからも同期会を通じて「絆」を取り戻し、あの上田高校生の矜持を思い出そうではありませんか。

次は古希記念として開催しましょう!

小林 猛(67期)

日本歯科医学会会長賞を受賞

59期の小林義典、村居正雄両氏

日本歯科大学の小林義典教授(59期)と長野県歯科医師会監事の村居正雄氏(59期)が2011年度の日本歯科医学会会長賞を受賞した。日本歯科医学会は歯科界で最大規模の学術団体。

小林氏は研究部門の受賞で、歯科医学・医療の研究に大きな成果を収めたことが評価された。

村居氏は地域歯科医療部門での受賞。地域での長年にわたる歯科保健活動と、アジアの国々での国際協力の実績が認められた。



小林義典氏(前列左から3人目)と村居正雄氏(右端)



中山道69次を歩く(7)

美濃入り、関ヶ原など巡る

美濃路に入ると、名古屋在住の

同期生や関ヶ原町在住の同期生が

参加するようになり、高校卒業以来の積もる話で一段と楽しい。

第19回(11月26、27日)は加納

宿への物資の運搬で栄えた鏡島湊

跡を通り、橋を渡り、長良川の対岸の河渡宿へ。長良川の渡しで栄

えたが、水害に悩まされ、江戸後期に幕府の援助で宿全体を盛り土

したとのこと。条里地割が残り、道路や田んぼが直交する道を歩

き、美江寺宿へ。

美江寺宿は濃尾地震の震源に近

かったため、本陣をはじめとして、ほとんどが倒壊した。唯一倒壊せ

ずに残った造り酒屋の建物は、今も太い柱と梁が支えている。

大垣で宿泊し、翌日、赤坂宿に

向かう。杭瀬川の橋を渡った先にある赤坂港跡には立派な川燈台が

あり、昔の繁栄がしのばれる。

田んぼの中の街道を歩くと、雪化粧した伊吹山が見えてきた。し

ばらく歩くと広大な

な美濃国分寺跡。

相川を渡ると垂井宿である。垂井の

泉は、今も清らかな水がわき出して

いる。

第20回は今年最

初の旅。3月24日、

垂井から関ヶ原宿に向かう。彼岸過ぎ

ぎというのに風が

強く寒い。

間の宿・野上

を過ぎると樹齢

300年の松並木



関ヶ原・笹尾山石田三成陣跡

がみごと。すぐ先の桃配山は関ヶ原合戦の家康最初陣地である。

関ヶ原古戦場は、町の史跡ガイ

ドさんに案内をお願いした。石田三成が陣を敷いた笹尾山、開戦地

の天満山、小早川軍の松尾山など、

実際に説明を聞いて、すつか

り関ヶ原合戦通になった。この日は、関ヶ原宿でただ一つ営業して

いる旧旅館・枳屋に泊った。

翌日は、古い宿場の建物が所々に

に残る街道を歩き、西の首塚を手

を合わせる。不破の関跡を過ぎ、壬申の乱の戦場、藤古川を越える。

今須峠の手前には、常盤御前の墓。

墓前には生花が供えられている。

今須峠は、碓氷峠、和田峠など

幾つもの峠を越えてきた身には、苦もなく越えられた。

今須宿のはずれあたりから雪交

じりの強い風に向かって歩く。美濃、近江国境は50坪ほどの小川。

寝物語の里を通り、楓の巨木の

並木を過ぎると街道の中央に融雪装置が埋められた柏原宿である。

江戸時代に吉原で「亀屋佐京の

切り艾」とCMソングを作った

わけ評判になったという伊吹堂は

今も営業している。

清水計枝(64期)

すさまじい低気圧が通り過ぎた翌日の

4月4日(水)、17回目のゴルフコンペ

が千葉CCC川間コースで開催された。54

期から69期までの精鋭47人が集い、出場

者数は過去最多。

当日は終日、冷たい風が吹き荒れ、厳しい条件のなかでの熱戦となった。

結果、個人戦は森則雄さん(65期)がグロス

85、ネット67、5アンダーという好スコアで優勝。準優勝は花房伸吉さん(54期)、3位に北

住不二男さん(63期)が続いた。ベスグロは池田恵一さん(65期)がグロス84で獲得。

また、滝澤関東同窓会会長から贈られた、第17代会長にちなむ「17位特別賞」は秋葉光廣さん(55期)の手に。4人以上の参加者の期(7

チーム)で争われた期別対抗戦は、上位入賞者(1、4、8位)を確保した65期が2位以下を大きく引き離して初優勝を飾り、今回は65期の活躍が目立つ結果となった。

プレー後のパーティーは参加者が多いため全員のスピーチは無理で、入賞者と初参加者だけがあいさつした。

次回コンペは10月30日(火)。場所は同じく

千葉CCC川間コースで開催の予定。

ゴルフ同好会幹事 上原昇(65期)

65期が初優勝 ゴルフ期別対抗戦



ゴルフ同好会幹事 上原昇(65期)



進路状況

国公立大 229 人、医学部 19 人

リーマンショックに続き、東日本大震災と原発事故、円高、タイの洪水による日本企業大被害、さらにユーロ危機などで、日本はデフレ不況から抜け出せない。受験生の父母の経済状況も好転する気配はない。

2012年入試は、このような経済・社会状況から「安い・近い・中位」志向が強まった。

センター試験では、出題方法の変更、理科・地歴公民の実施方法変更、大学の第一解答科目指定などにより混乱が生じ、全国的には受験生が振り回された。

本校現役生のセンター試験会場は地元・上田市内の長野大学であったが、大きなトラブルは一つもなく落ち着いて受験することができた。

センター試験の平均点の上昇により、一般的には極端な強気志向は見られず、手堅い出願が目立った。本校でも同様な傾向が見られた。

国公立大学の現役合格者数は133人(延べ人数)で、長野高校の143人と、さほど差がない健闘ぶりだった。

2012年入試の結果は、旧帝国大学合格者22人(うち現役11人)、国立医学部医学

科(防衛医科大学校を含む)12人(4人)、信州大学48人(36人)など、国立全体では229人(133人)が合格し、私立大学では早稲田大学22人(5人)、慶應義塾大学8人(2人)、私立医学部医学科7人など。中でも地元信大合格者は本校が全国トップの合格者を出した。

中高一貫校の健闘が目立つ中、本校が置かれている状況は決して安泰とはいえないが、東信地区の中高一貫校の国立医学部医学科合格者数と本校の同学科合格者数は同じである。

4月29日付「サンデー毎日」の特集「国公立大学医学部に強い高校地域別ランキング」では、「甲信越地区」で本校が取り上げられている。

本校の良さを保ちつつ、職員一丸となり、新たな進路指導の在り方を探りたい。

同窓会の皆さまには「社会講座」、「卒業生による進路講演会」などの行事をはじめ、物心両面において多大なご支援をいただいております。今後ともよろしく

お願い申し上げます。
進路指導主事 小岩井秀樹

大学名	12年	11年	10年	大学名	12年	11年	10年	大学名	12年	11年	10年	大学名	12年	11年	10年	大学名	12年	11年	10年
国公立				大阪教育	1			私立				成城	2	8	4	明治学院	17	17	6
帯広畜産			1	神戸	2	1		酪農学園				専修	17	15	13	明治薬科	2		5
北見工業	1			奈良女子	1			岩手医科				創価	1	7	4	明星	2	4	
北海道	1	2		岡山		1		東北薬科		1	1	大東文化		2	5	立教	12	22	10
北海道教育		1	1	広島		1	1	国際医療福祉	5	4	7	玉川	2		3	早稲田	22	24	24
東北	13	8	6	九州			1	自治医科	2	1		多摩美術			3	麻布		2	1
秋田	2			福岡教育				獨協医科	2		2	中央	28	50	31	神奈川	1	2	7
山形	1	1	4	熊本	1			群馬パース	2			津田塾	2	2	3	関東学院	1	1	1
茨城	3	4	3	琉球	1			高崎健康福祉	5	1	1	帝京	6	5	3	昭和音楽	1		
筑波	5	3	5	国立大学計	190	167	147	埼玉医科		1	3	東海	3	8	3	フェリス女学院	1		1
宇都宮	1	1	1	宮城		1		埼玉工業	2			東京医科			1	横浜薬科	1		2
群馬	7	2	7	茨城県立医療		2	1	城西	1	2	3	東京医療保健	1		1	新潟医療福祉	2		4
埼玉	13	9	10	国際教養				女子栄養	2	1	1	東京音楽	2			新潟薬科		1	
千葉	12	10	9	群馬県立女子	2			獨協	5	11	8	東京家政	1	1	2	金沢医科		1	
お茶の水女子	3	1	1	高崎経済	9	13	10	文教	5	3	8	東京経済	4	1	3	金沢工業	2		
電気通信	4	2	2	前橋工科	2			神田外国語	1	3	1	東京工芸	2		2	北陸	1	1	2
東京		4	5	埼玉県立	3	1	2	帝京平成	1		1	東京慈恵会医大	1		1	佐久	2	2	2
東京医科歯科	3			千葉県立保健医療			1	青山学院	14	18	11	東京歯科	1		1	諏訪東京理科	2	1	
東京海洋	1	3	1	首都大学東京	8	10	9	亜細亜	3			東京女子	2	6	6	長野	1		1
東京外国語	1	3		神奈川県立保健福祉	1			大妻女子	2	1	2	東京女子医科			1	松本歯科	1	1	
東京学芸	7	11	5	横浜市立	1	3	3	桜美林	3		1	東京造形	1		1	岐阜医療科学	1	2	
東京工業	2		1	新潟県立	1	2		学習院	5	1	2	東京電機	3	5	2	岐阜聖徳学園	1		
東京農工	2	1		富山県立	2			北里	18	7	7	東京都市	3		1	愛知医科	1		1
一橋	1		1	石川県立	1			共立女子	3	2	2	東京農業	3	4	3	愛知	1	1	
横浜国立	6	7	5	福井県立	2	1		杏林	5	6	2	東京薬科	6	2	3	中京	2		
上越教育	1	1		都留文科	2	2	1	国立音楽	3			東京理科	28	31	15	名古屋外国語	2		1
新潟	6	7	9	山梨県立	1		1	慶應義塾	8	12	21	東邦	4	5	4	藤田保健衛生	1		
富山	12	4	7	長野県看護		1		工学院	1	2	2	東洋	17	7	7	京都外国語	2		
金沢	9	10	12	岐阜薬科	1		1	國學院	3	3	4	日本	21	19	26	京都産業			2
福井	1	1		静岡県立	1		2	国際基督教		2	2	日本医科		1		京都女子	2	5	
山梨	4	3	3	愛知県立		1		駒澤	6	8	7	日本社会事業	3			同志社	5	3	3
信州	48	48	35	愛知県立芸術	1		1	実践女子	3	2		日本女子	3	3	3	同志社女子	1	3	1
静岡	8	4	5	名古屋市立		1		芝浦工業	16	16	14	日本女子体育	1			立命館	28	27	10
浜松医科	1			滋賀県立		1		順天堂	1	3	3	法政	26	24	25	龍谷	2	2	
名古屋	1	5	4	京都府立	2	1	1	上智	2	9	1	星薬科		2	3	関西	7	3	1
名古屋工業			1	大阪府立	1		2	昭和	1	3	2	武蔵	1	8	2	近畿	2		1
三重			1	神戸市外国語		1		昭和女子	3			武蔵野	9	2		関西学院		4	1
滋賀		1		奈良県立		2		昭和薬科	2	1	2	武蔵野音楽	2	1		福岡	1	1	1
京都	2	2		奈良県立医科	1			女子美術	1	1	2	武蔵野美術	2	2	2	その他	13	11	19
大阪	2	3	1	公立大学計	39	43	36	成蹊	5	7	3	明治	28	35	31	私立大学計	518	531	457



上田高校 NOW

関東同窓会の皆さまには、本校の教育を温かく見守り、ご支援いただきとともに、多くの生徒が関東の大学に進学する中で、常に精神的支柱となっていたいただいていることに厚く感謝申し上げます。母校の現状をご報告いたします。

2011年度末の進路状況でございますが、大きく三つの成果がございます。一つは現況の国公立志望増の中で国公立の現役合格者が133人と県下で2番であったこと。二つ目は、いわゆる浪人の率が10%ほど下がり、久しぶりに4割を切ったことで、現役で進学できるという安心感を地元の中學生に与えたこと。三つ目は、国公立医学部医学科に12人の合格者を出し、私学などを

含めると19人で、過去最高ということでありませう。

一方、地方では医学部人気が強いこともあって、いわゆる難関校受験者の層が、ややもすると手薄くなる傾向があることは一つの課題です。加えて、この春から県立初の併設型中高一貫校として県立屋代付属中学校が開校、県民の期待も高いものがあります。6倍を超える競争率のなか、東信の小学校からも20人の合格者が出ました。長野市まで新幹線なら10分程度と、生活の場としてとらえる地域の範囲もだいぶ広がっている現在、他校と切磋琢磨することこそが本校飛躍の機会と前向きにとらえ、改めて地元の小学生、中学生に本校の良さをアピールする必要を感じます。現在、2013年に向け新教育課程の編成期ですから、さまざまな角度から本校の魅力づくりに取り組まなければいけないと思っております。

スポーツでは、昨年、定時制の増田真七海さんが馬術少年の部で見事団体優勝を果たしました。また、今春の北信越野球大会県大会に、野球部が4期ぶりの出場を果

切磋琢磨し魅力ある母校に

学校長 小林一雄



放送班に北信越・最高賞

オーディオピクチャー部門

私たち放送班は、日々の定時放送のほか、5—8分の番組を作り、テレビ局や高文連主催の大会に提出しています。昨年の12月に行われた、SBC杯長野県新人高校放送コンテストでは、ビデオメッセージ(VM)部門とオーディオピクチャー(AP)部門に作品を提出し、個人では朗読・アナウンス部門に9人参加しました。

私たちが放送班は、日々の定時放送のほか、5—8分の番組を作り、テレビ局や高文連主催の大会に提出しています。昨年の12月に行われた、SBC杯長野県新人高校放送コンテストでは、ビデオメッセージ(VM)部門とオーディオピクチャー(AP)部門に作品を提出し、個人では朗読・アナウンス部門に9人参加しました。

VM部門では、テレビドキュメントタリーの形式で坂城町の刀鍛冶を題材にし、AP部門では、写真と音のみで上田の喫茶店「木の

番組制作は、班員の手だけでは成立しません。保護者や支援してくださるOBの方、取材に応じてくださる方々の協力があつて初めて完成することができます。

今回の受賞は、その大きさを再確認する機会を与えてくれました。過去の成績をおぼろげに忘れることなく、感謝の気持ちを忘れずに、夏の大会に臨みたいと思います。

放送班副班長 矢澤達也



たすことができました。東信予選では、春選抜の長野県代表、地球環境高校に、延長10回3—4の接戦で惜しくも敗れましたが、本校の戦力の高さを示し、夏に向けて楽しみます。

櫻田法律事務所

弁護士 櫻田 喜貢穂 (65期)

弁護士 今井 亮 (野沢北高校)

〒102-0092 千代田区隼町2-17 金辰ビル3F

Tel 03-3512-3562・Fax 03-3512-3563

sakura@sakurada-jimusho.com

(診療科目) 一般歯科 矯正歯科 小児歯科

はせがわ歯科矯正歯科

院長 長谷川 剛 (80期)

埼玉県戸田市川岸2-5-26

埼京線戸田公園駅 徒歩8分

http://www.hasegawa-dental.com

上田高校 NOW

1年生 新入生、再び女子が上回る

今年の春の訪れは遅く、正門前の桜も堅いつぼみのままの入学式でした。4月5日に、全日制361人、定時制29人の生徒を迎えました。今の3年生に次いで9クラスです。女子の人数が男子を上まわるのも2回目で、この傾向はしばらく続くのかもしれない。



入学式であいさつする小林一雄校長

4月の生徒健康診断でみえた学校医の先生も「女子校みたいだな」と感想をもらっていたと聞きました。ルーム長が女子というクラスも少なからずあります。穏やかな男子が多くなったと思うのは気のせいでしょうか。

もちろん、まじめで素直な生徒は多く、授業に対する真剣なまなざしは変わりません。勉強なんてやらなくたってできるんだと高をくくつてするような豪傑は見かけなくなりました。とはいえ、十分元気もあるし心配りのできる生徒が多いように思います。昨年3月の震災の後、様々なニュースや記事に触れながら中学3年生を過ごしてきた

生徒たちですから、いろいろな思いをもって入学してきているのだと思います。自分の人生についても、あれこれ見つめ直してきたとでしょう。

われわれ担任が生徒たちに望む姿も、笑顔であいさつ、想いを声に、感謝の心、と基本的なことです。日常の当たり前のことにも真剣に取り組みながら、これからの学習や厳しい班活動の中で思い切り自分をぶつけ、仲間と競い合い励まし合いながら、至高の望みを探求していったほしいと願っています。

1学年主任 滝澤文浩

2年生

松代象山地地下壕を見学

秋には沖縄修学旅行へ

新年度を迎え、2年生になりました。

1・2期生も講座別の授業展開に合わせて、忙しく校舎内の廊下を移動する様子にも少しずつ落ち着きと、1年次とはちよつと違った風格を感じる今日このごろです。今秋の沖縄修学旅行に備え細案を検討しているところですが、伊江島に渡り一般家庭に民泊体験する計画のクラスもあります。昨今戦争体験の貴重なお話をいただける講師の先生方が減少しています。5月10日には沖縄出身で長野市在住の「語り部」親里千津子さんに沖縄戦の体験を話してもらいます。

ました。

4月26日には修学旅行の事前学習として、松代の象山地地下壕と御座所を見学してきました。案内してくれたボランティアの皆さまから、説明を聴く態度をお褒めいただき、この状況なら修学旅行でも収穫多き研修になるのではと、安堵しているところです。終了後の感想にも、歴史を真摯に受け止めるながら、自らの考えをまとめていくものが多くありました。

今年度は、3年生が班活動や生徒会活動の一端を退きますと、本校の中核を担うこととなります。そして何より、自分の進路希望をさらに具体化させ、より確かなものにし、不動の決意を固めていくための大切な時期を迎えます。また、3年次の科目選択に向けて、センター試験、2次試験が必要とされるであろう科目の把握も、2年次での重要な取り組みとなります。高い理想をしっかりと持ち、自分の将来をしっかりと見据えて、「試百難」の気持ちで、1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。

2学年主任 丸山省三



松代の象山地地下壕

安心・安全・快適 老後を楽しく美しく！
「サービス付き高齢者向け住宅」

リリィ パワーズ レジデンス

<都内・川崎・横浜> [リリィパワーズレジデンス](#) 検索

お気軽にお問い合わせください

0120-182-082

株式会社 パワーズ アンリミテッド

ソフトウェアの

システム技研株式会社

代表取締役 清水 通男 (66期)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-34-1 サンフジビル 5F

TEL (03)5272-8830 FAX (03)5272-8836

URL <http://www.s-giken.com>



3年生

上田城跡公園で花見楽しむ

受験モード突入は松尾祭後

111期生、358人がいよいよ最終学年をスタートさせました。4月12日には恒例の上田城跡公園の花見を終え、現在、生徒たちは高校生活最後となる大会や発表会に向けて、毎日、不安定な天候にもめげず、厳しい練習に取り組んでいます。並行して松尾祭の準備にも取り組むわけですから、「よくやっているなあ」というのが実感です。



上田城跡公園で花見

毎年このことから、3年生ともなると諸活動のとりまとめ役・先導者として、心なしか風格が備わってきたように見えるのは少々欲目でしょうか。入学当時に比べ、随分成長したものだと感じ、その成長力には圧倒されそうなのを感じます。まさに「後生畏るべし」ですね。真摯に取り組んでいる生徒たちだけに、それに見合った成果を収めてくれるものと楽しみにしています。

さて、生徒にとっても、保護者の方々にとつても、最大の関心事である課題が、進路目標の実現かと思えます。全体的にまじめで素直な生徒が多いと言っていただけの学年ですが、やはり本格的な受験モードに突入するのは、大会後や松尾祭後となるのは例年通りで、五月の連休中でも校内の学習室利用者はわずかなものでした。学年の方針としても、今取り組んでいることを中途半端で終わらせないように仕向けたと考えていますが、生徒たちもその真意は十分理解してくれているようです。今年も大会後から学習室利用者数が急増するものと予想されます。

過日、進路係と担任とでミニ進路検討会を開き、全生徒の情報を交換し合って、1人でも多くの生徒が第1志望校合格となるよう、

学年全体で情報を共有・支援する準備を始めています。いずれにしても、来る3月、この111期生

全員が明るい笑顔で学舎を巣立つて行ってくれることを願っています。3学年主任 南澤茂徳

東海大会で金賞受賞

吹奏楽班クラリネット8重奏



1954年に創部（創部59周年）された吹奏楽班は、最大目標の定期演奏会が今年で37回目となる県下有数の伝統校です。近年は100人前後の班員を有し、年ごとに「真の文武両道の実践」「全国バンドにふ

さわしく」「感謝の心」「班活動を勉強の力へ」などの目標のもと、OB・OGの皆さまや歴代顧問の先生方が築かれた伝統に恥じぬよう技術、精神両面の向上を目指して活発に活動しています。

に上田高校吹奏楽班のサウンドを満喫していただきました。

吹奏楽班最大の目標である今年度の定期演奏会は6月24日（日）上田市民会館にて、日本屈指のプロドラマー阿野次男氏をスペシャルゲストにお迎えして開催します。クラシック、音楽劇、ポップスと、お子さまからお年寄りまで楽しんでいただけるステージで、午後1時半開演です。多くの同窓生、班OB・OGの皆さん、地域の皆さんにお越しいただきますようご案内いたします。

昨年度のコンクール（吹奏楽の甲子園と言われる東京・普門館で行う全国に通じる大会）では、5年ぶりに県代表を逃すという厳しい現実に直面しました。しかし、その後の練習に熱が入り、アンサンブルコンテストではクラリネット8重奏が県内約200チーム中の上位5チームの一つとして東海大会に出場。僅差で全国出場は逃しましたが金賞を受賞しました。また、12府県の代表で競われる中日コンテスト「本大会」では、重奏の部で打楽器7重奏が優秀賞、個人の部でもアルトサクソス石井綾香（現3年）が優良賞を受賞しました。



4月末には金沢市の石川県庁跡の「石の広場」で行われたラ・フォル・ジュルネ「熱狂の日」音楽祭に招待され、全国から集まった音楽ファン

班員のブログ：<http://ameblo.jp/uedabwo/>
吹奏楽班顧問 山岸 明

天然酵母田舎パンの店

ルヴァン Levain

ふるさとへ帰って来たら
ぜひ立ち寄ってください



オーナー 甲田 幹夫 (65期)

富ヶ谷店：渋谷区富ヶ谷 2-43-13 TEL 03-3468-9669
信州上田店：上田市中央 4-7-31 TEL 0268-26-3866

ダンス班が全国大会準優勝

高校ダンスドリル冬季大会

ダンス班は、今年1月14日に東京の国立代々木競技場第2体育館で行われた「全国高等学校ダンスドリル冬季大会」に選手18人で行き出し、HIP HOP部門女子ミディアム編で準優勝しました。

運動班で言う「新人戦」と同じ位置づけのこの大会は、1、2年生の新チームで臨む初めての本格的な競技会で、夏の本大会に向けてのチーム作りには欠かせない大会です。新チームで一丸となり、年末年始の休日に返上で練習を積んで臨んだ大会で



したので、最終的に「準優勝」という結果をいただいたことは班員にとつて大変な喜びで、その後の活動の励みともなっています。

ダンス班は、HIP HOPやジャズのジャンルのダンスを中心として活動しています。班活動として正式に活動を始めてからまだ歴史も浅く、班員の多くが初心者状態から始めますが、練習計画に始まり演技の振り付けから構成まで、すべて班員が知恵を出し合って一つの作品や舞台を創り出していきます。

冬季大会での演技では、「和」をテーマに構成を行い、三味線や和太鼓の繊細で力強い演奏に乗せて、「粋」な世界観を描き切ることができました。毎回、柔軟に変化する彼女たちの発想の豊かさには驚かされるばかりです。

今年も、念願の男子班員も加わり、20人を越える新人班員を迎えて、総勢40人ほどの大きなチームで活動しています。班のモットーである「感謝」「自信」「笑顔」を常に全員で心に持ち続け、夏の本大会に向けて、ますます高い志で練習に励んでまいります。

ダンス班顧問 城取恭子

プリンスリーグに参入

サッカー班 全国大会出場を誓う



上田高校サッカー班は現在、高円宮杯U-18サッカーリーグ2012プリンスリーグ北信越2部に参入しています。プリンスリーグという言葉になじみがない方に説明すると、高校サッカー・クラブチームを含む18歳以下世代は大学リーグと同様にリーグ戦を組織しています。県内3部制で運営され、県リーグ1部から昇格するとプリンスリーグ北信越2部へ、プリンス1部から昇格すると最上位リーグ・プレミアリーグに参入できます。

2010年、サッカー班は県1部リーグ優勝を果たしてプリンス2部に昇格しました。昨年のプリンスでは8チーム総当たりホーム&アウェー14節という長いリーグ戦を新潟から福井まで転戦して、全国大会常連校を相手に戦い抜き、リーグ5位の成績で2012年のプリンス残留を決めました。

現在、サッカー班は金井伸明監督(89期)の指導の下、25人の新人班員を加えて総勢68人の大所帯となりました。昨年は全国大会出場にあと一步というところまで勝ち上がりました。今年度全国総体は地元長野県開催(2012北信越かがやき総体)となります。2006年以来の全国大会出場を目指し、全国の舞台で勝利したいと班員一丸となって練習に励んでいますので、同窓生のみならず、ぜひ、応援をお願いします。

サッカー班顧問 小宮山勝人

六五会より **祝！第51回総会** 六五会は65期同期有志よりなる親睦会です。

【メンバー】

青松英和、上野政博、小山田秀士、小出俊、輿水章比古
小山壽一、島田甲子雄、中村幸男、羽田義久、丸山幸雄
安川荘太郎、矢島好高、柳澤英明、吉田一雄、若林健

【開催日・場所】

- ◆毎月21日、19時から
- ◆上田市内の飲食店にて

代表幹事：布施修一郎 090-1663-6363 ichirido@po3.ueda.ne.jp



Essay

三軒長屋が我らの梁山泊だった

宮原安春（58期）

上田高校の正門から一番奥のグラウンド手前に、古ぼけたバラック建て平屋の三軒長屋があった。一軒が間口一間半ほどの建物で、内部は10畳ほどだったろうか。この三軒長屋に、新聞班、文芸班、音楽班が入っていた。

真ん中にあつた文芸班は毎年、「松尾文芸」という作品集の発行と、松尾祭で演劇を上演することが先輩から引き継がれていた。この演劇は松尾祭の人気イベントになっていて、2年のときに秋元松代作「礼服」、3年のときに倉田百三作「出家とその弟子」を上演した。この2作とも私が主演を務めた。演劇は



松尾祭で上演した「出家とその弟子」の出演者たち

大勢のスタッフが必要だし、キャストに女優も不可欠だ。そこで、数少ない女子生徒に依頼して出演してもらったものだ。「出家とその弟子」では脚本にキスシーンがあり、それをどう演じるかで悩んだ。

作品集「松尾文芸」は毎年1冊発行が慣例だったが、私たちが3年のときは2冊発行した。だが、この実物を私は紛失していて、仲間にも持っていない人がいない。学校の図書館にひよつとすれば所蔵されているかと言いつつ聞いてみたが、ないという。おぼろげな記憶をたどってみる。授業が終わった後、貧乏学生だったのに喫茶店に頻りに通い、当時あつた洋画専門の名画座ニュー・パールでジェームズ・ディーンの「理由なき反抗」、ブリジット・バルドーの「素直な悪女」などに胸をときめかせていたことをエッセイとして書いてはみない。そのなかに喫煙する場面もあつたのに、学校から何のお咎めもなかつたこと

で覚えている。大学受験に備えて授業がなくなった3年の1月末に文芸班と親しい友人たち10人ほどが居酒屋で宴会をし、学校にバレて校長から強い叱責を受けた。

少し背伸びして、反抗的だった。進学校だから成績優先。一流大学に入り、一流企業に就職するか、医師や官僚の道を選ぶのが当然という雰囲気だった。入学してから徐々

に「なんとなくいやーな感じ」が強くなっていった。ここで2年のとき生徒会副会長に立候補した。もつと自由で創造性に満ちた校風にというのがメインの趣旨だった。また、数人の女子生徒がいるにしても上田高校が男子高、染谷丘高校が女子高という分け方がおかしい。小学1年から民主主義教育、男女平等を学んできた世代だから、生徒同士の交流を生徒会がすべきだと提唱した。かなりの支持を集めたが、選挙では負けた。

そんなアウトサイダーたちが三軒長屋に集まった気配だ。部員たちで何をしたらかを出す。いろいろな悪さをした。修学旅行のときだつたらうか、先輩時代から歌い継がれてきた卑猥な「春歌集」をガリ版刷りで作って一部10円で売った。観光バスの中で野太い声で皆が合唱したものだ。部室では、花札、トランプが流行した。次に、紳士の身だしなみとしての本格的なブリッジで勝負した。

議論は盛んだった。社会の動きや矛盾を熱っぽく論争した。60年になると全学連の反アノン闘争が過激になっていたので、大学に入ったらデモに参加しようなどと主張があつた。

ロマンスへの憧れ、西洋文化への関心、そして反骨心。反骨心は自分の中に平凡さと違う価値観がなければ育たない。それらが各人の自我の核になって個性を強めた。結果で言えば、文芸班から2人が著述業に、出版社編集長、衆議院議員になった人もいる。音楽班からはイスラエル・フィルのチェロ奏者、NHK交響楽団の打楽器奏者が生まれた。

祝！第51回総会

「世代を超えた交流の輪をさらに大きくすることを目指し、総会を盛り上げます」 総会実行委員長 宮原 豊（65期）

田村栄治 牧野泰晴 篠田勝俊（1組）、小宮山豊 林長人 田中由紀子 上原昇（2組）、原田義則 小島幸一 澤崎健一 柳澤光美（3組）、若柳直人 滝沢克俊 成澤文和 瀧沢政視 丸山暢久（4組）、森則雄 折井正博（5組）、内堀信 宮川恵三（6組）、櫻田喜貢穂 池田恵一 西澤省悟 澤井繁男（7組）、山浦陽士 高見澤文雄（8組）、牧野泉 宮原豊 武澤美佐子 保屋野良治 西村賢治（9組）、神宮進 山浦信幸 宮沢憲一（10組）、深町美由 中山正光（11組）

（65期広告協賛有志一同）



(17 ページからの続き)

柳沢安信 2012	金井 久 2013	掛川勝司 2015	袖山 脩 2014	酒井博文 2011	田口象二郎 2012	宮島正紀 2014	藪原和男 2011
山極卓也 12	金子親頌 13	加藤 高 11	鷹野芳機 15	佐々木 豊 13	田島善光 18	矢島正晴 12	山浦ひろみ 11
鎌沢敏雄 12	鎌原昭治 15	木下嶺夫 12	滝澤章次 13	佐藤寿正 13	土屋和猛 12	山浦 衛 13	山本淳一 12
横島庄治 15	北野啓司 14	小林賢一 12	滝内善尉 13	鮫島秀之 11	富田光明 11	山浦善樹 11	吉田公生 11
依田幸雄 12	北村尚巳 11	小林芳友 13	竹倉征詞 15	塩沢英巳 11	永井正夫 14	山浦成子 12	吉村和夫 11
若林克壽 15	久保田達夫 13	小林朋晃 11	武田直樹 11	清水正睦 11	中澤裕治 16	山極真咲 11	65 期
57 期	倉島今朝徳 21	小林義典 14	田中武夫 15	関 勝男 13	中島正博 15	山本寿美子 14	赤尾晴夫 12
青木周二 11	小池 晃 16	坂口茂夫 12	田中 誠 14	関 勝 12	中曾根弓夫 15	若林春樹 12	浅倉英樹 11
有井 毅 15	神津 進 12	櫻井資悦 13	田中 節 16	高橋宗雄 12	中村房子 16	若林英也 11	池田恵一 11
池田教範 17	小島佳雄 12	重原正治 15	田中誠一 12	滝澤 進 16	中村眞一 14	渡辺節男 11	伊藤恭一 13
池田盛司 17	後藤史郎 13	清水 和 14	田中良樹 12	滝沢雅男 11	中山君平 11	64 期	岩崎和雄 14
宇賀神一雄 11	小林俊雄 11	清水侯博 11	田中一穂 15	田沢 洋 14	羽田啓吾 11	青木伸彦 11	岩崎ひとみ 14
白田茂二 16	小林慶三 11	清水紀男 11	田中 純 11	玉木純雄 12	花岡孝雄 13	浅井康彦 16	上原 昇 12
榎本金二 15	小山捷二 12	関 和明 14	田中俊郎 20	成沢文計 12	牧野紀明 13	荒井祐二 13	内堀 信 13
大谷光弘 13	小山 泰 12	関口勝子 12	田村武弘 11	西澤正捷 17	松井由美 16	有賀 猛 13	宇野直幸 13
岡川章夫 11	桜井成樹 12	関根克郎 12	塚田 晃 15	野口文武 14	松山 武 17	石井則男 12	大野正広 11
皆瀬 淳 11	桜井兼三 15	高野寛之 11	戸島忠彦 11	羽毛田仗一 17	真山隆夫 15	磯村雄二 11	岡田 修 12
加賀美欣二郎 14	品川勇一 12	高橋謙夫 11	戸塚武雄 12	橋詰研一 15	宮坂和夫 11	伊田 賢 11	荻久保一男 14
金澤昭義 13	清水壽一 11	武重昭蔵 11	長崎 誠 11	浜村康次 11	宮坂信章 14	一條光枝 15	折井正博 14
神林英男 15	城下 尚 14	田村 功 11	中島 亨 15	半田利雄 12	宮崎信二 12	一瀬清治 11	柿崎良男 13
倉島俊二 13	関 徹 11	千野裕明 13	中島恭一 11	平林秀明 11	村上国夫 19	一場美智子 13	菊地暁子 13
桑原恒雄 13	高橋福幸 12	土屋勝典 13	中島敏男 14	星山輝男 11	村川誠子 19	荻原俊男 11	杏掛文夫 14
小島吉男 12	滝沢信夫 14	常盤秀夫 13	西沢國隆 14	細萱英久 14	室賀太郎 13	奥村恭子 12	栗林みよ子 12
小島士郎 12	滝澤一彦 13	奈良本圭司 12	沼形泰枝 13	堀内寿美 24	諸岡健児 13	小野沢常裕 13	甲田幹夫 12
近藤郁雄 13	田中健一 11	西沢正浩 12	羽毛田 信 15	町田 章 15	柳澤敏雄 17	小野博見 11	小島幸一 14
近藤正輝 13	田中 剛 11	萩原清人 16	橋詰武敏 14	松尾英昭 15	依田欣五郎 12	片桐昭夫 15	小林 勤 11
清水康弘 13	手塚洋兵 12	長谷川久二 18	久田英保 11	三井文人 13	青木郁夫 12	片桐和夫 14	小林国雄 12
白倉憲二 12	寺島知恵子 18	羽田幸善 12	平林 久 14	宮尾昌典 11	浅野幸司 11	金井栄治 12	小宮山 豊 11
鈴木芳枝 15	寺島紘士 18	馬場裕三 11	福嶋 宣 19	宮坂 清 13	飯島俊文 14	河合 廣 11	小宮山善郎 11
関 行裕 11	中島秀忠 12	藤原秀臣 14	古川 敦 15	宮沢達士 11	飯島正文 13	河上公洋 14	小山佳朗 14
高木佳年 16	中島勇司 12	本郷達郎 13	前田尚武 15	宮島英紀 30	飯島武次 14	北川原 智 11	櫻田真喜穂 14
滝澤文雄 12	中村国武 12	町田克二 12	松井石根 15	妻島和子 15	伊藤秀夫 11	北原巖男 16	佐沢政利 11
武井和雄 15	中村 敏 11	松井亮一 14	松本 強 14	望月 信 17	熊坂一成 15	熊坂一成 15	笹藤徹郎 14
竹内 昭 12	西澤益男 14	水出清仁 14	松林純夫 16	柳原 穰 22	内山宗芳 11	児玉正直 11	真山 亨 14
田沢雄二郎 12	波田野 浩 13	宮島健治 14	丸山久勝 14	山浦直次郎 16	大井俊彦 11	小林照幸 11	塩川明男 12
田村義昭 20	林 嘉市 16	柳沢建夫 14	武藤義勝 13	由井 崇 11	小田中時幸 12	小林千修 15	柴田正文 11
土屋信雄 14	林 隆男 11	柳沢洋司 13	森田英明 12	吉澤善男 12	金沢嘉昌 12	小松正佳 11	清水俊文 14
戸塚英雄 12	平松勝利 11	柳澤喜明 16	両角 聡 12	62 期	上条和祥 12	小宮山 孝 12	神宮 進 11
中澤啓司 13	藤巻郁雄 11	山口元彦 11	矢嶋邦彦 13	青柳健次 13	神林 森 13	塩川伸明 18	関 賢治 11
西尾紀一郎 19	星野和俊 13	山崎勝二 12	安間 襄 17	秋田 勇 15	川村恭司 11	島田彰男 11	関森寿一 12
野田晃弘 13	堀内 昭 14	山本政道 14	柳沢 厚 13	浅井保雄 13	北澤啓雄 14	清水敬久 11	高見沢文雄 11
箱山 雅 23	本田祥治 15	60 期	山岸憲雄 12	有賀幾夫 14	木村公平 16	清水計枝 13	滝沢克俊 12
畑 勲 17	三井恵雄 14	青柳信行 15	山岸文明 12	岩井重一 22	小林諒一 16	清水淳郎 12	滝沢政規 13
馬場健一 13	宮川克彦 18	池田 清 12	山岸裕二 12	小川朝行 13	小林正則 14	清水安雄 12	武澤美佐子 14
保科政男 11	宮下秀久 14	伊藤正俊 11	山本哲之 18	片山隆行 15	小林悠一 19	春原和民 11	田尻英敏 12
堀 英毅 12	宮島武源 12	井上 茂 12	渡辺俊彦 12	片山登喜男 11	佐伯謙吾 13	関川 哲 13	田中由紀子 12
堀内 修 17	宮原清明 14	今井勇雄 16	渡辺達三 16	川上千秋 14	塩沢清文 20	高梨芳男 16	田中 昇 12
本田 健 12	宮原安春 15	上原惇子 11	61 期	木内和宣 14	関田正幸 13	滝澤明憲 11	田村栄治 13
松木 功 17	宮本忠昭 16	大池高保 11	新井袈裟光 13	北村克昭 14	高寺 学 12	竹内中和 11	田村一平 13
宮坂幸雄 13	百瀬和紀 18	大草 進 13	有坂猛三 13	栗山正雄 12	滝沢鐵夫 15	竹中 司 13	塚田道明 12
宮下廣勝 15	森 邦夫 16	大橋邦夫 12	飯野栖子 11	甲田充彦 11	武井長久 15	田中耕一 15	土屋富志夫 11
望月英明 11	矢嶋瑞夫 15	荻原武仁 11	池田 稔 16	小林直樹 15	竹内伍郎 14	塚田高明 11	手塚幸次 11
森田紀武 11	柳澤義孝 11	尾上朝子 13	市川武伸 13	小林 仁 15	多田圭吾 14	辻 佐知子 12	仲澤 正 14
山浦 武 15	山邊光一 13	風間文彦 16	井出孝光 13	小林美智子 14	田中 正 12	手島万明 12	中村宣夫 13
山崎逸雄 17	吉池千冬 11	北原英孝 22	井上 剛 14	小林圭一 13	田中将揮 14	直井隆徳 12	中山正光 12
横沢武久 14	吉池正樹 13	北村友和 15	今井光信 11	小山平六 14	田中 稔 12	永井信介 15	成澤文和 11
渡辺孝幸 14	依田康徳 15	沓掛行徳 15	久保柳哉 14	近藤晃理 35	田村新後 11	中沢勝義 11	西澤省悟 13
渡辺浩通 13	渡辺武彦 22	久保柳哉 14	黒澤博身 14	斎藤実敏 14	角田玲子 16	中西載慶 13	西村賢治 12
渡辺静雄 13	59 期	甲田 泰 11	大澤義隆 12	酒井伸二郎 12	中沢秀夫 17	中山 敏 11	長谷川英人 12
58 期	響場賢司 15	甲田 泰 11	大澤義隆 12	坂口典和 11	成澤三雄 29	野村 一 16	馬場和幸 13
青木 淳 14	阿部真之亮 15	児玉八十三 16	荻原隆治 19	坂本喜祐 14	西沢文昭 14	林久美子 11	原田義則 14
赤池三男 12	荒井理夫 11	小林秀芳 13	尾和正暉 25	佐藤澄江 15	西澤信幸 15	樋村明久 11	深町美由 12
秋葉義廣 14	有賀勝雄 15	小林公幸 12	加賀美徳行 16	塩入睦夫 13	西村耕三 11	藤巻禮子 11	保屋野良治 11
井沢 敬 19	池内正直 14	小松有也 13	笠井徳爾 15	塩入功三 13	林 壮治 15	松高賢一 13	牧野 泉 11
磯部由紀子 12	池田周次 11	小宮山 毅 12	岸井進二 12	清水輝夫 11	平林善夫 14	宮坂信之 11	丸山隆平 11
伊東啓治 13	石崎吉宏 11	小山比呂志 11	岸田 勇 11	正村真治 13	深沢直行 14	宮坂眞実 14	丸山敏明 12
伊東紀男 12	石塚洋一 11	塩川英世 12	沓掛 忠 13	白井宏和 13	宮澤康元 14	藤川 昇 14	丸山暢久 16
伊藤文明 14	井出政義 14	清水敏弘 14	久保田敬雄 12	関 祥行 16	保坂証司 13	宮地研二 11	緑川政志 11
大井秀三郎 13	稲垣正雄 15	清水幸雄 13	栗谷川 洋 12	高梨奉男 15	保屋野美智子 12	宮下明子 11	宮川恵三 16
大島仁士 12	内久根克彦 12	下里 剛 13	小林宣光 14	高松郁夫 13	堀内敏文 12	村居次雄 14	宮原 豊 18
大日向寛敬 12	大日方勝利 24	白井 透 15	小山忠顕 14	滝澤 淳 11	松山 久 11	柳沢信義 13	村山幸男 11
岡野富男 11	尾崎晴夫 14	鈴木光人 13	小山 満 14	滝沢健三 12	水野 隆 11	柳沢篤俊 15	森 則雄 11
片岡春雄 12	柿崎靖夫 12	関 一嘉 14	坂井英樹 11	瀧澤 晃 12	宮入從誠 12	柳田 稔 12	柳沢光美 11



年会費納入者一覧 (2012年3月末現在)

- ▶年会費納入にご協力いただき、ありがとうございます。一覧は2011年度以降の年会費を納入した方(1,420人)です。
- ▶名前の後の数字は、その年度まで納入したことを示しています。(例: 12=2012年度分まで納入済み)
- ▶会報に同封の年会費の直近納入日、納入期限をご参照ください。80歳以上の方は年会費免除です。
- ▶過年度分未納の方は、さかのぼって納入する必要はありません。納めていただいた時点からカウントいたします。

お問い合わせ先: 事務局(幹事長) 栗山正雄まで TEL/FAX 03-3811-2639

32期 水野利男 2012	浦田光雄 2012	50期 相場邦二郎 2011	黒川嘉郎 2014	関 正利 2013	半田喜章 2012	成田崇宏 2012	巨川晃夫 2015
大平 暁 13	大平 暁 13	相場邦二郎 2011	小林貴一 12	高松健治 12	藤井真澄 12	橋田ちせ 14	長峯道明 14
35期 柿崎眞吾 13	柿崎眞吾 13	甘利信明 12	佐藤信博 13	滝澤 格 11	藤森善也 11	花房伸吉 14	橋詰孝子 13
石井 暢 15	掛川周男 14	五十嵐明迪 12	清水英明 14	田口修三郎 11	山邊一磨 14	馬場武彦 13	波田野 彰 13
滝澤 正 16	熊川次男 11	石井一郎 14	清水 勲 11	武半正一 11	堀内忠久 21	馬場雄二 14	間島 巖 13
36期 小林富士雄 15	小林富士雄 15	井出藤壽 13	清水 順 12	土屋義子 11	堀内正智 11	深井克彦 11	松尾 裕 14
小川太郎 13	小林芳彦 13	上原健一 11	滝澤英彦 22	中村茂之 11	増田隅雄 12	深町勝男 11	宮入健二郎 12
37期 小松昭威 13	小松昭威 13	尾台 久 16	竹内英晃 12	橋爪今朝男 13	宮崎祐輔 11	福田斎一 12	宮島光男 17
清水志郎 15	坂梨 港 14	金井忠雄 33	土屋 章 15	藤井清彦 16	村山憲太 12	藤村延魚 13	毛利義範 12
39期 清水雄司 11	清水雄司 11	金井昭夫 12	徳永慈宏 12	藤村 伸 13	柳澤浩二 12	古見喜八郎 11	柳沢郁政 13
菊地 博 16	城下栄三郎 11	工藤俊夫 14	中澤良行 15	古川 一 26	柳沢 博 12	堀内木意 12	横山征三郎 11
40期 森山博司 13	春原 寛 16	久保長行 12	中島通明 14	松崎義一 13	山崎達夫 12	前田喜美子 16	和田 守 21
高柳英治 12	高柳英治 12	久保田 滋 14	中島 宏 22	水出康雄 11	山本一夫 11	松平三三 23	56期
41期 高柳直樹 11	高柳直樹 11	神津安夫 11	中曾根 聡 13	宮島廣人 15	山本農夫彦 15	丸山俊二 14	赤尾信吉 17
宮下俊夫 14	田原 敬 11	児玉忠雄 12	中山隆雄 13	森 浩一 12	横田武夫 13	宮入裕夫 16	飯高盛龍 13
42期 土屋 亮 11	土屋 亮 11	小山邦介 12	成澤誠司 21	矢島寛文 15	若林清和 12	宮崎親作 12	上原清治 14
岩下 實 15	土屋 亮 11	小山洋之介 32	橋本正幸 11	柳沢 忠 15	渡辺百枝 16	宮沢社介 12	内海章緒 23
栗田裕夫 18	寺沢 明 11	滝沢主計 11	長谷川孝一 13	山口直枝 13	54期	宮本昌典 12	大塚明彦 13
高橋砥市 14	中村哲治 12	早川正範 14	早川正範 14	53期	天野清司 12	望月源治 11	岡田建治 13
43期 堀内道夫 12	堀内道夫 12	保坂利勝 11	保坂利勝 11	阿久津義雄 14	石合正治 11	八木繁実 15	河西邦彦 12
堀内 惇 11	堀内 惇 11	浅野井 恭 17	浅野井 恭 17	浅野井 恭 17	石井光春 11	柳沢 明 11	笠原征夫 13
手塚慶次郎 14	峯村千徳 11	堀内弘栄 13	堀内弘栄 13	安土忠男 11	石原澄江 13	柳澤 明 11	風間英信 13
保刈大治 11	宮澤英人 11	堀内照雄 17	堀内照雄 17	飯島秀也 14	市河富弘 16	柳澤嘉計 14	勝野裕夫 14
44-5期 北澤 守 11	山極喜郎 14	丸山瑛一 14	丸山 弘 11	飯島房子 11	大矢憲明 14	山浦輝信 14	金井浩三 11
久保田昭寿 12	山崎延秋 11	丸山 弘 11	宮川 司 14	井澤 保 12	小川 廣 11	山崎茂幸 14	神津 進 17
甲田悌三 13	和田 裕 11	宮澤正躬 12	宮澤正躬 12	井上真人 12	荻原統夫 13	山崎信明 13	甲田洋二 13
児玉喜年 11	49期	宮本忠一 11	宮本忠一 11	岩崎 涉 14	大日方 真 12	山本大吉郎 13	小平節夫 19
44-4期 青木喜久彌 12	青木喜久彌 12	村田 寛 16	村田 寛 16	岩田 久 14	河西秀夫 14	山本正秀 11	小林英郷 16
竹内秀彦 23	芦田 純 12	母袋博一 12	母袋博一 12	大塚昌宏 15	菊島和宣 11		近藤征司 11
45期 飯島弘行 14	飯島弘行 14	両角克己 12	両角克己 12	大塚教夫 12	久昌貴代江 12	55期	坂田治三郎 11
石塚民雄 12	石塚民雄 12	八木浩輔 13	八木浩輔 13	尾崎俊朗 12	沓掛文哉 12	青木幹男 14	沓掛政道 20
室賀超八郎 11	室賀超八郎 11	柳澤 暁 14	柳澤 暁 14	加々井悦朗 17	倉島 彰 11	秋葉光廣 14	佐藤英和 11
46期 上原啓郷 11	上原啓郷 11	柳沢 純 19	柳沢 純 19	掛川多美雄 12	黒岩千鶴子 13	秋山弘志 12	佐野勝雄 11
有賀 治 14	榎本秀雄 20	山田直衛 14	山田直衛 14	掛川弥永 12	黒川次郎 13	荒井恒雄 14	柴田義人 12
神林常規 11	大石和夫 11	横島義之 13	横島義之 13	懸川文夫 12	呉 公一郎 12	飯島慶三郎 14	関 勝久 17
工藤忠房 11	岡田暉夫 12	吉沢深二 13	吉沢深二 13	上原 原 11	神津勝重 13	飯島尚 11	瀬下正利 13
清水卷郎 11	荻原 賢 15	掛川孝行 21	掛川孝行 21	神津勝重 13	神津勝重 13	荻原光夫 16	藤野致和 11
長谷川 潔 11	小澤泰衛 15	川村作子 14	川村作子 14	小菅健司 12	小菅健司 12	笥 正博 12	滝沢 健 12
水澤 博 11	小野 実 12	杳掛忠幸 11	杳掛忠幸 11	後藤人三 12	後藤人三 12	片岡恒夫 12	竹内 仁 11
宮沢 寿 12	風間 充 12	小泉勝夫 14	小泉勝夫 14	小林勝利 23	小林勝利 23	川上博美 11	田代和美 11
47期 井出周利 12	久保利夫 15	小出 武 12	小出 武 12	木村和幸 16	木村和幸 16	草間 孝 11	立岩 環 16
上原 亨 11	小林喜六 14	小林忠夫 11	小林忠夫 11	櫻井 敬 12	櫻井 敬 12	沓掛勝利 15	田辺順一 15
片山治夫 14	小林齊之介 12	飯島孝一 13	飯島孝一 13	滋野三樹 14	滋野三樹 14	倉見英一 13	田村 功 16
柄沢和彦 11	銭澤未治 15	小山 哲 11	小山 哲 11	篠原宥司 13	篠原宥司 13	黒着 了 14	鳥居次生 12
笹井 博 20	高野郁雄 11	坂口茂廣 14	坂口茂廣 14	関 正勝 14	関 正勝 14	小宮山忠彦 14	長崎哲夫 14
佐藤 喬 37	滝澤茂夫 12	櫻井功輝 12	櫻井功輝 12	滝沢英統 11	滝沢英統 11	坂口宏明 12	中村 勉 15
佐藤一郎 14	田中達夫 12	佐藤明朗 11	佐藤明朗 11	滝沢義信 12	滝沢義信 12	坂口守夫 15	成田邦夫 14
関本秀治 11	田村和男 15	塩野 剛 13	塩野 剛 13	滝沢 正 14	滝沢 正 14	清水 勇 19	新沼惇雄 13
田澤 徹 11	鶴見慎一郎 12	杉浦醇一 14	杉浦醇一 14	滝澤睦夫 15	滝澤睦夫 15	清水好昭 13	西沢興宣 12
田守正雄 19	永井俊夫 11	須田武久 11	須田武久 11	竹内 節 15	竹内 節 15	杉原積雄 12	西島幹夫 15
土屋 博 20	花岡 潔 11	芹沢袈裟三 12	芹沢袈裟三 12	竹重節雄 13	竹重節雄 13	関 五郎 12	羽島昭一 11
西澤祥平 11	堀内寅次 16	高木快雄 16	高木快雄 16	田中嘉親 30	田中嘉親 30	滝沢 傳 13	花岡節雄 11
西村 勉 12	牧内泰道 18	武重賢治 15	武重賢治 15	田村 朗 16	田村 朗 16	滝沢克彦 12	濱村邦夫 12
花村義男 18	町田健一 12	塚田 靖 16	塚田 靖 16	千村一平 12	千村一平 12	滝沢 謙 12	平尾充雄 11
牧内 操 14	松岡秀夫 13	土屋 隆 11	土屋 隆 11	土屋勝俊 12	土屋勝俊 12	滝沢哲三 13	平野武明 12
丸山栄一 20	松本初男 20	寺田明彦 14	寺田明彦 14	土屋晃一 12	土屋晃一 12	田玉尚武 12	藤沢行雄 12
三浦嘉治 18	翠川 輝 12	寺西 孝 14	寺西 孝 14	土屋重基 13	土屋重基 13	塚田征司 14	松瀬勝雄 11
水野 純 13	宮坂 博 19	中島 均 11	中島 均 11	寺島重輝 15	寺島重輝 15	土屋 務 11	宮坂 卓 12
山崎繁廣 11	柳沢敏郎 13	服部聡一郎 40	服部聡一郎 40	中島隆之 12	中島隆之 12	鶴見貞夫 12	宮城正和 11
48期 相田俊一 12	山岸萬亀男 12	馬場正彦 11	馬場正彦 11	中村一彦 12	中村一彦 12	遠山武彦 11	村山 剛 13
	渡辺侃治 12	須藤尚彦 15	須藤尚彦 15	中村忠勝 13	中村忠勝 13		柳沢省三 14



(16 ページからの続き)

柳沢賢次 2012	谷合裕子 2012	小川亮夫 2013	中沢茂明 2011	林 幸平 2012	田中秀樹 2015	83 期	100 期
山浦敬夫 12	土屋英子 11	尾上孝司 15	中沢庄平 14	三ツ井優子 11	戸田由香 11	稲垣敬太郎 2012	滝澤成晃 2013
山浦陽士 11	堤 達 11	片井 修 11	中村一夫 12	宮下研也 11	長田敦子 11	榎本かおる 12	滝澤 章 11
山浦信幸 11	手塚 茂 18	金井秀量 11	中谷夕紀子 11	75 期	成田裕夫 11	尾添静子 11	田中悠樹 11
山辺良樹 11	林 千春 15	蟹江由美子 17	長谷川敏雄 12	川畑久仁子 11	西澤敬夫 11	内川延彦 11	中川央充 11
若柳直人 11	松本哲夫 12	河合紀美子 11	望月敏子 13	小林正宏 11	野口克哉 11	宮島克仁 11	三橋優介 11
66 期	丸山博晃 17	倉沢 裕 11	柳沢幸夫 14	竹内幸隆 14	北條裕信 11	84 期	102 期
浅野俊二 20	水島良子 13	近藤正昭 11	若林典雄 11	羽田 平 14	堀内嗣浩 11	篠塚未暁 15	久保田智史 11
荒井秀人 12	村越 進 11	清水龍夫 12	72 期	宮島省吾 13	松尾 弘 15	清水博之 11	堀内 駿 11
池田頼雄 15	山下一雄 19	下村文彦 16	青沼 泉 11	柳沢幸治 11	松木富士子 11	城下理恵 11	依田慶子 11
石井茂夫 12	山本修士 11	関 和義 12	今井一郎 14	山田美紀 14	水沢 宏 11	関 素子 11	103 期
今井郷子 11	湯本修一 11	高橋 実 11	岩崎裕治 15	和氣寿子 12	宮原博之 11	松本優樹 11	井出洋文 14
大石雄司 14	68 期	土屋文男 12	榎本美智子 11	渡辺聡明 22	両角 豊 12	向本直樹 11	大谷真由 11
大久保健仁 12	石垣洋子 12	栃原重文 17	奥山利幸 11	76 期	六川明子 11	柳澤長武 11	倉沢麻紀 11
大沢忠夫 12	稲寺 隆 12	栗川 巖 11	川崎とみ子 13	内山憲一 12	若林勇文 15	吉池 仁 14	小岩井聡美 12
鬼久保潤一 12	井上明美 23	藤谷芳子 12	北沢 豪 11	金井一正 15	80 期	85 期	佐藤 有 13
北沢 博 12	井部才揮 15	古畑克巳 14	氣田夏子 12	小林忠利 11	會田信子 31	小須田武志 13	竹村淳一 12
北澤英男 12	碓田 茂 16	細堂文彦 11	小宮山修邦 13	佐藤美恵子 14	飯窪順子 11	近藤弘司 16	田中 聡 11
北島良男 11	太田康夫 14	堀内俊夫 11	関 博明 11	清水順三 13	小林 章 12	87 期	中村小春 11
小林芳樹 11	織田辰郎 14	前田啓子 11	関 雄二 11	白石友子 11	鈴木巴季 11	上沢美咲 11	中村大輔 11
小林周一 13	尾台孝男 11	村尾正子 11	田中 誠 14	高池裕子 11	谷川博幸 13	北村玲子 13	穂苅 敦 11
小山 茂 14	金子元昭 12	山村由紀子 14	田村順一 15	土屋久幸 11	柳沢孝之 11	正部孝孝子 12	依田秀男 11
笹澤和平 14	北村和雄 11	吉村邦彦 13	塚原三喜夫 12	広田徳明 13	81 期	田中正暁 11	104 期
塩崎良次 12	工藤敏夫 14	70 期	寺嶋正明 14	福井正彦 17	五十嵐厚夫 11	永井 博 11	岩田菜里子 11
清水 理 12	窪田 進 12	安藤 哲 13	長坂武見 13	堀籠秀直 15	池野修一 11	西澤信司 11	川合健治 15
清水通男 21	小出一夫 11	伊藤彰紀 16	福田礼子 11	宮川 正 11	今田明日香 11	88 期	坂口直兄 12
菅沼恵子 11	甲田 廣 15	大橋志津江 11	船渡和男 15	77 期	金井教子 15	池田剛生 11	佐藤英則 11
田口 博 13	小林照明 14	君波昭治 15	山崎初美 11	岸 豊子 15	唐沢倫子 12	中島数晃 15	清水文隆 11
小内豊和 11	小林 誠 12	小池朋子 11	依田昌樹 12	佐藤之俊 12	軽部 薫 11	89 期	清水未来 11
田中 茂 11	桜井啓一 13	渋沢 稔 15	渡邊温子 12	78 期	小池 徹 11	北東美枝 11	曾根崇智 11
田村和枝 12	塩野入文雄 12	渋谷園枝 12	73 期	五十嵐紀元 13	輿水正比古 13	小林幸治 14	高柳賢治 11
西澤幸男 11	芝間伸剛 18	田中正行 14	石坂敦子 12	池田 宏 11	桜井仁徳 11	野澤郁子 12	塚田有希 11
宮坂栄一 12	清水 猛 15	中村喜嗣郎 12	尾台通久 15	一杉恵理子 11	辰巳美輪子 13	原 克彦 11	寺島亞希 12
宮原富士樹 11	杉本真理子 12	中村建哉 17	加藤義彦 12	鵜殿理枝 12	戸島俊一 20	91 期	中村由唯 11
茂木俊郎 14	田中秀喜 11	花岡千賀子 11	川上幸則 11	小相沢直美 13	富澤元貴 11	滝沢綾子 14	福澤雄来 11
柳澤公雄 13	土屋耕太郎 16	平賀淳子 16	河野嘉子 12	小林和幸 13	中沢直木 11	92 期	増尾智子 11
山極正直 11	中川彰雄 14	丸山清光 11	須貝 博 11	竹花真理子 11	長谷川浩正 11	植松真弓 11	水野高夫 12
山辺樹久生 12	中島みどり 15	丸山幸夫 14	土屋秀俊 11	田村理恵 15	堀内康男 12	94 期	三橋 光 11
山邊豊文 13	中村隆明 11	緑川正博 13	橋爪宏達 12	吉田和子 14	堀内和子 11	95 期	106 期
67 期	西沢 悟 13	虫明陽子 12	橋爪尚子 12	渡邊 博 15	松山徹也 11	松山美保 11	張 驪驛 11
飯島康夫 14	松山研治 15	矢澤清子 11	藤木和彦 15	79 期	宮下 博 11	宮下 博 11	堀 淳志 11
石田清典 14	丸山洋一 13	柳澤 光 11	藤澤市郎 13	今井 明 14	宮下 博 11	橋本清香 12	107 期
岩崎 章 11	宮川俊晴 12	71 期	柳沢憲明 11	荻原 貴 12	毛利元晶 12	96 期	甲田英里子 11
生島久資 11	宮坂邦夫 12	青松英男 13	柳沢信雄 14	金田圭子 11	八尋岳美 12	関 隆臣 11	中村 翔 11
沓掛正樹 12	宮崎直之 12	赤木千江子 15	74 期	木村範子 11	横関正人 12	97 期	108 期
熊坂文成 15	宮沢和幸 14	岩下秀市 12	猪田真紀子 11	黒坂 淳 11	82 期	露久保智美 12	小林壮太 11
黒岩正一 15	山岸 馨 15	内田みつ子 12	遠藤誠子 11	坂田尚美 11	上野謙二 11	依田恵美子 12	横澤希美 11
小林みゆき 13	山本近雄 16	久保田則夫 14	荻原久俊 16	坂部深雪 11	田玉智明 13	98 期	109 期
小松康夫 12	69 期	小林孝弘 14	小宮山伸之 13	笹沢英生 11	常盤順子 11	松林道雄 12	瀬尾友里恵 12
小山正樹 11	荒木久文 15	近藤 徹 11	坂口洋三 14	清水雄至 20	中村 薫 11	99 期	
坂口公一 11	荒木由美子 15	杉崎経雄 19	佐藤一雄 11	清水智生 11	長谷川 浩 16	窪田健志 12	
清水研一郎 12	池田有美子 12	高木 繁 14	土屋三千夫 15	高寺利行 11	長谷川達哉 11	矢島好太郎 11	計 1,420 人
田中啓子 12	太田喜久代 11	茅野昌義 15	西沢英一 11	竹鼻ゆかり 11	山崎美和子 13		

寄付者 / 寄付グループ

(2011 年 10 月 1 日 ~ 2012 年 3 月 31 日)

期	氏名	金額	期	氏名	金額
35	石井 暢	2,000	65	田中由紀子	1,000
41	宮下俊夫	5,000	66	清水 理	1,000
44-4	山極栄司	2,000	66	田口 博	1,000
47	上野平八郎	1,000	71	柳沢幸夫	1,000
47	三浦嘉治	3,000	79	今井 明	1,000
50	渡辺洋一	10,000	81	輿水正比古	4,000
51	清水 勲	2,000	81	毛利元晶	2,000
51	保坂利勝	2,000	88	池田剛生	1,000
51	両角克己	1,000	99	和田知子	5,000
53	服部聡一郎	1,000	104	原田靖子	1,000
57	戸塚英雄	2,000			
57	畑 勲	10,000	61 期 7 組有志		11,000
60	大橋邦夫	3,000	幹部有志		1,211
60	日置勇二	50,000			
61	大草猛生	10,000			
64	荒井祐二	20,000	合計		154,211

Outsourcingの知識集団

株式会社 fellow

取締役社長 古畑克巳 (69 期)

東京都千代田区神田司町 2-19-4 KS 司町ビル 3F
 TEL 03-5283-7225 FAX 03-5283-7226
<http://www.16.ocn.ne.jp/~fellow/index.html>



2011年度会務報告案

(2011年4月1日～12年3月31日)

▼第50回総会・懇親会

2011年7月3日に如水会館で開催し、264人が参加。堀内康男氏(81期)による講演「小惑星探査機『はやぶさ』のエンジン開発」と母校室内楽班30人による演奏会が行われた。会費は前年の値下げを引き継ぎ6000円に据え置いた。

▼会報収録CDの発行

第50回を迎えた総会を記念し、過去の会報の全てを収録したCD「会報『うえだ』の軌跡」を製作。総会参加者には記念品として進呈し、その後は有料(送料込1000円)で配付した。

▼新年会

2012年1月19日に日本教育会館で開催し、105人が参加。コカリナ奏者黒坂黒太郎氏(66期)と矢口周美さんによる演奏を楽しんだ。また西東京市の男声合唱団「アンサンブル・ステラ」(代表は54期倉島彰氏)が懇親会の冒頭に歌声を響かせた。

▼会報

第82号を6月に、第83号を1月1日に発行した。

▼新推進テーマの検討

役員体制の一新に合わせて、新たに推進するテーマを検討する各委員会を1月に発足させた。HP関係は9月に先行発足。

▼年会費納入状況

引続き年会費納入は堅調で、年度予算を50万円以上上回ったが、前年比115万円増の一昨年に比べると減少した。

▼寄付金と広告収入

広告収入は新規の受注努力が奏功し、前年を27万円上回った。しかし寄付金はそれほど伸びず、これらの収入が会報の充実を支えていることを考えると、広告掲載や寄付金を通しての会のサポートにもっと多くの会員のご賛同をいただく必要がある。

▼その他

母校社会講座への講師派遣、秋のゴルフコンペ実施、本部や各支部総会などに出席。長野県高校同窓会東京連合会の役員当番校として、副会長(東信地区会長)を栗山が引き続き担当した。

2011年(平成23年)度決算報告案 (2011年4月1日～2012年3月31日)

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差額	科目	予算	決算	差額
前期繰越金	2,356,540	2,356,540	0	大会費	1,350,000	1,620,969	270,969
大会会費収入	1,400,000	1,524,000	124,000	会報費	2,050,000	2,340,591	290,591
会報広告料	600,000	1,000,000	400,000	交通費	200,000	188,720	-11,280
年会費収入	2,300,000	2,808,000	508,000	通信費	80,000	78,765	-1,235
会議費収入	700,000	881,000	181,000	会議費	900,000	1,052,984	152,984
寄付金収入	700,000	633,482	-66,518	渉外費	320,000	296,000	-24,000
雑収入	200,000	269,600	69,600	印刷費	190,000	105,828	-84,172
受取利息収入	0	0	0	事務費	750,000	847,659	97,659
(小計)	5,900,000	7,116,082	1,216,082	雑費	60,000	142,890	82,890
運営基金利息繰入	0	0	0	(小計)	5,900,000	6,674,406	774,406
合計	8,256,540	9,472,622	1,216,082	次期繰越金	2,356,540	2,798,216	441,676
				合計	8,256,540	9,472,622	1,216,082

2012年(平成24年)度予算案 (2012年4月1日～2013年3月31日)

収入の部				支出の部			
科目	24年度予算	23年度決算	増減	科目	24年度予算	23年度決算	増減
前期繰越金	2,798,216	2,356,540	441,676	大会費	1,600,000	1,620,969	-20,969
大会会費収入	1,500,000	1,524,000	-24,000	会報費	2,500,000	2,340,591	159,409
会報広告料	1,000,000	1,000,000	0	交通費	200,000	188,720	11,280
年会費収入	2,600,000	2,808,000	-208,000	通信費	80,000	78,765	1,235
会議費収入	900,000	881,000	19,000	会議費	1,050,000	1,052,984	-2984
寄付金収入	700,000	633,482	66,518	渉外費	320,000	296,000	24,000
雑収入	200,000	269,600	-69,600	印刷費	190,000	105,828	84,172
受取利息収入	0	0	0	事務費	800,000	847,659	-47,659
(小計)	6,900,000	7,116,082	-216,082	テーマ推進費	100,000	0	100,000
運営基金利息繰入	0	0	0	雑費	60,000	142,890	-82,890
合計	9,698,216	9,472,622	225,594	(小計)	6,900,000	6,674,406	225,594
				次期繰越金	2,798,216	2,798,216	0
				合計	9,698,216	9,472,622	225,594

運営基金特別勘定 (2012.3.31現在)

科目	前期繰越	当期	期末残高
運営基金	10,410,000	30,000	10,440,000
同利息	2,527,110	22,464	2,549,574
利息一般会計繰入	-1,700,000	0	-1,700,000
合計	11,237,110	52,464	11,289,574

定期預金：三井住友銀行 (単位：円)
郵便振替・定期貯金：麴町郵便局

一般会計・特別会計総括表 (2012.3.31現在)

科目	金額	科目	金額
現金	2,342,098	次期繰越金	2,798,216
郵便振替	1,868,043		
特別会計から一時流用	-1,411,925		
<運営基金用>			
定期貯金	5,222,464	運営基金	11,289,574
定期預金	4,655,185		
一般会計へ一時流用	1,411,925		
合計	14,087,790	合計	14,087,790

2012年度会務計画案

(2012年4月1日～13年3月31日)

▶第51回総会・懇親会

2012年7月1日(日)に如水会館で開催、実行委員最年長の65期が中心になって企画運営を実施。

▶会報

第84号を6月初旬に総会直前号として発行、本年も昨年同様24ページ建ての特大号とする。第85号は年末年始に発行。

▶アクションプラン2012の実行

昨年度、検討委員会を立ち上げ選定した同窓会活動の推進テーマ(アクションプラン2012)を実行に移す。

▶ゴルフコンペ

本年は従来通り春と秋の2回実施する。

▶母校・本部などとの交流

母校社会講座への講師派遣、入学式・卒業式などへの出席、上田本部、他支部の総会への出席。

▶他団体との交流

県高校同窓連合会の役員当番校として、その活動に積極的に関与する。

日本アカデミー賞映画「スウィングガールズ」の感動をそのまま

JAZZ CANDY from 蓼科高校ジャズクラブ

ライブ CD 「スタンダードタイム」 好評発売中

制作・指揮 齋藤研郎 (72期) プロデュース 井出孝光 (61期)

問い合わせ先 <http://www.jazz-candy.com/>**新たな教育システムの創造****松実学園グループ**

初等部・中等部・高等部

現在の教育システムでは対応困難な児童生徒の為の学園

医科系大学特進コース・松実メディカル高等予備校

医学部進学・難関大学進学の為の特別コース

松実国際高等学園 (認可申請中)

世界のリーダーを育成する国際高等学校

(社) ISM 教育総合研究所

理事長・学園長 松井 石根 (60期)

東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された地域の皆様、そのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

まつみこうとうがくえん

松実高等学園本校 埼玉県春日部市中央1-55-15
<http://www.matsumi-gakuen.net>**証券アナリスト基礎講座**

申込受付中

個人賛助会員

投資に興味がある方に最適な

学習しやすい初級レベル通信講座！

—コンパクトなテキスト(2分冊)による自学自習を補完する

演習問題も充実— 受講料: 15,000円

お問い合わせ: 03-3666-1511 (kiso@saa.or.jp)

会員の特典が多数あります！

証券アナリストジャーナルの毎月送付、会社説明会(無料)・講演会・セミナー(会員割引価格)の参加など。

年会費: 18,000円以上(満65歳以上の方は、12,000円)

お問い合わせ: 03-3666-1411 (member@saa.or.jp)**SAAJ**

公益社団法人 日本証券アナリスト協会 (59期 萩原清人)

東所沢の不動産仲介専門店

**株式会社 アルファ**

代表取締役 尾和正暉 (61期)

〒359-0023

埼玉県所沢市東所沢和田 2-3-1

TEL 04-2945-2220

FAX 04-2945-2225

アルファでは家をお売りする前に
安心をお売りしています。

J R 武蔵野線 東所沢駅 徒歩3分

E-mail info@alphar2220.co.jpHP <http://www.alphar2220.co.jp>**アクト法律事務所**

〒107-0052

東京都港区赤坂3丁目9番18号

赤坂見附 KITAYAMA ビル3階

TEL: 03-5570-5671 (代表)

FAX: 03-5570-5674

【最寄りの交通機関】

地下鉄銀座線・丸ノ内線 赤坂見附駅下車徒歩1分

弁護士 (所長) 岩井 重一 (62期)

弁護士 安田 隆彦

弁護士 平澤 慎一

弁護士 波戸岡 光太

弁護士 黒澤 真志



会員短信

新年会への

出欠はがきより

36期 小川太郎

上田中学36回生の36会を毎月25日に開いていますが、出席者も6-7人で、だんだん淋しくなります。

40期 児玉安彦

40期の2カ月に1度の集まりも当初は10数人でしたが、昨年ごろから減ってきて4-5人になり、来年からは年2回にすることになりました。

41期 宮下俊夫

郷里の上田で1回、東京で1回と毎年会合を実施しています。

42期 栗田裕夫

脚力が衰え、家の回りを歩く程度です。

44-4期 小山和男

健康良好。近年(10年ほど)は薬、医院は関係なしで、体調強化に励んでいます。

48期 中澤利雄

当日は小生の81歳の誕生日で家族会と重なり残念ながら欠席いたしました。男性の平均寿命はクリアしましたが日々元気で楽しくと米寿を目標にフアイトです。

49期 樋村晃一

昨年は卒業60周年と最後の同級会が上田で行なわれ、元氣な皆さまに会うことができませんでした。

49期 堀内寅次

満80歳となりましたが、今年は何も悪く、やっと年を越せそうです。

50期 金井忠雄

上田高校も創立1世紀の歴史を重ね、ますます発展している様子、何よりです。

50期 渡辺洋一

(株)さんぼうの会長職を老骨におち打ち、やっています。(社歴43年、従業員500人以上)

51期 上原隆雄

時代の変化でしょうか、各種の会合の集まりが少なくなりました。51期はその流れに棹(さし)をさそうと努力中です。同期4人のゴルフも続けています。

51期 鎌野秀嗣

2007年の「ヨーロッパ鉄道の旅 インターネットガイド」に続き、その改訂版ともいえる「ベルリンの壁とヨーロッパ鉄道の旅」を上梓しました。同好の士を探しています。http://www.geocities.jp/rail13way

51期 蒲生卓磨

後期高齢者となりましたが、家庭菜園やデジタルカメラ写真を楽しみながら、元氣に生活しています。

51期 黒川嘉郎

1月7日の初漕より本年のボートが始まります。今年全日本マスターズに75歳以上エイトで優勝したいと思っておりますが、クルーが編成できるか。皆年です。同窓生諸兄のご健勝祈念。

51期 八木浩輔

「原子核物理学」(朝倉書店、1971年初版)の最新30刷に当り、放射線のベクレル、グレイ、シーベルト、人体への影響などの解説を改訂しました。大阪大学理学部助教時代の著書ですが、わが国の大学物理学、同大学院のテキストとして読み継がれています。原子核エネルギーおよび放射能の本質を理解できます。

52期 橋爪今朝男

男声、混声2つの合唱団で頑張っております。先日はさるロータリークラブのXX年記念に出演し、打ち上げの軍資金を得ました。余生を「おいたちの記」やら「句集のまとめ」に費やす予定です。

53期 塚田 靖

75歳を過ぎましたので、いろいろな大学での仕事関係を少なくしているところです。

53期 堀内忠久

IT委員会に期待します。頑張ってください。

54期 倉島 彰

(アンサンブル・ステラの合唱では)お世話になります。アンコールは高野

訃報

心よりお悔やみ申し上げます。

30期 中村常雄 不明	42期 依田和俊 2012年2月3日	54期 清水 等 2011年6月14日
33期 橋本利政 2005年4月	43期 梅田 實 2011年11月15日	56期 岩下 宏 2011年6月8日
33期 弘世弘信 1999年11月ごろ	47期 滝澤直人 2011年7月12日	56期 小山莊司 2011年11月24日
35期 小山 孝 2011年7月26日	48期 竹内元幸 2011年9月20日	58期 芳賀躰道 2011年8月
36期 田中良夫 2011年11月3日	50期 輿水朝治 2010年12月20日	61期 柏原 修 2010年7月16日
39期 石井善久 2011年8月30日	50期 沼田 淳 2011年7月25日	61期 渋谷勝広 2011年8月2日
40期 小林政治 2012年2月4日	51期 小林祐二 2011年10月4日	62期 小河原大夫 2011年7月18日
40期 竹内武弥 2011年4月5日	52期 松沢秀雄 2011年7月14日	65期 中沢邦広 2011年
40期 渡辺久雄 2011年6月29日	53期 上原光一 2011年12月3日	67期 手塚 茂 2012年5月9日
41期 田中稔治 2011年5月7日	53期 和田重光 2010年4月13日	72期 中島俊哉 2011年10月
42期 金子保夫 2011年12月15日		



辰之作詞の「ふるさと」を会場の皆さまと一緒に歌いたいと思います。

54期 後藤人三

健康にも恵まれ、甚とゴルフを楽しんでおります。

54期 藤村延魚

「全国中央寮歌祭」を立ち上げました。北大から鹿児島大まで約60大学が一堂に会し、旧制高校の寮歌を歌う会です。2012年は

8月4日に京王プラザホテルで午前11時から午後3時半。問い合わせは03-3397-7800 延魚まで。

56期 濱村邦夫

職場のつきあいが減り、同窓会と同級会、OB会のつきあいが増えました。友人、知人の訃報が増えました。平均寿命の統計数字と医学、薬学の進歩が頼りです。

56期 藤沢行雄

週2回のグラウンドゴルフを楽

本部同窓会が一般社団法人に移行

新公益法人制度施行に伴い検討、審議してまいりました一般社団法人への移行は、昨年12月の移行認可申請、今年3月の県の認可を経て、4月1日の設立登記をもって手続が完了しました。これにより、法人の名称も「一般社団法人上田高等学校同窓会」と変更になりました。

▽法人法・新定款に基づく同窓会運営

新制度では、法律で定められたガバナンスに関する各種機関を設置し、法人自らが責任を持って自主的、自律的に運営を行うことが求められています。

この趣旨を踏まえて本会では、幾つかの選択肢の中から次の機関を設置することにし、新定款で規定しています。

・社員総会(代議員による総会)

本部同窓会事務局

・理事

・監事

▽公益目的支出計画による移行時財産(純資産)の消費

法人の移行時の純資産額に相当する額は、公益目的支出計画に定められた次の実施事業などのために、今後14年間程度の予定で全額消費されます。

・奨学金給付事業

・社会講座協賛事業

・学力向上助成事業

・学習環境整備助成事業

この公益目的支出計画が終了しますと、行政庁への実施報告義務もなくなり、「自主的な運営」が可能なる法人として位置付けられることとなります。

しみながら元気にしております。

57期 高木佳年

会報「うえだ」を楽しく読んでいます。これからもすばらしい編集をお願いいたします。若い会員方が増えることを期待しています。

57期 田沢雄二郎

昨年3月末で46年間の会社人生にピリオドを打ちました。毎日日曜日を楽しく過ごしております。

57期 馬場健一

年末インドに行ってきました。山の岩を掘り抜いた大建築群・エレファンタ島、エローラ、アジャントは壮大でした。貧富、超現代と古代、カースト1、2 vs 3 vs 4の差を利用する勃興(米中、ブルジルも多かれ少なかれ同構造)を考えさせられます。

58期 堀内 昭

遠方の方々のためにも、冬場の催しは昼間の時間帯に配慮を期待します。

58期 山邊光一

白井透さんからのメール、いつもいただいております。ありがとうございます。上田郷友会の毎月勉強会に出席しています。席上、田原巖さん(48期)から「同期の和田裕さんが文芸社から『風に向かって走れ』という大部(514頁)の本を出された」と聞いて借りました。一読していい本でした。

60期 羽毛田 信

経費を減らすためにメールを活用することに賛成です。郵券もゼロになる節約ともなりますし、速報性もありますので…。

60期 矢嶋邦彦

地元のマンクラでギターを弾いています。月に1-2回ボランティア演奏をしています。コーラスサークルでもがんばっています。

61期 笠井徳爾

最近の若手開拓の効果は出ていますか? 多くの若い期の方が新年会に参加してくれるといいですね。

61期 關 勝

ボランティア、町内会、市防犯

祝! 第51回総会



- ・関東同窓会唯一の同好会
- ・年2回(春・秋)ゴルフコンペ開催
- ・初参加の同窓生、大歓迎
- ・次回は本年10月30日(火)、千葉C川間コース

ゴルフ同好会幹事 上原昇 (65期)

TEL 048-641-7749 n-uehara0816@spa.nifty.com

サワイ メディカルクリニック

院長 澤井 繁男 (65期)

〒136-0073 江東区北砂 6-27-17

TEL 03-3615-0606

一般外科、乳腺科、内科、消化器科、循環器科、整形外科などの専門医が曜日ごとに診察

<http://www.sawaimedicalclinic.net/>

三井住友海上火災保険株式会社 代理店
三井住友海上きらめき生命保険株式会社

株式会社 ハート・ワン保険サービス

取締役 田中 一穂 (60期)

〒380-0888 長野県長野市上ヶ屋 2471-3376

TEL & FAX : 050-8686-0881

E-mail : f35540288kt@ngn.janis.or.jp



白井メールの配信を ご希望の方に

6ページで紹介した同窓生の新刊本は、当
会前会長の白井透相談役（60期）が個人的
に手元に集まった情報を上田高校同窓生を主
とする氏の知人に広く配信されている（以後
「白井メール」とします）中で、お知らせい
ただいたものがほとんどです。

これまでも、当会にメールアドレスを登録
されている方で、白井メールの配信を希望さ
れる方にはご紹介してきましたが、今後の配
信を希望される方はお知らせください、仲介
いたします。

配信される情報は、こうした本の紹介の他、
同窓生の活躍情報、故郷や母校のトピック、
季節感あふれる写真など多彩です。

申込み先は栗山幹事長まで
(m-kuri@mrf.biglobe.ne.jp)

自主防災会、学校評議員などの奉
仕活動に専念しており、月のうち
20日間、仕事は5日間ぐらいいです。

62期 片山隆行
62期の韓国旅行で同期生と楽し
い時間を過ごしました。

62期 中島正博

若い英語学習者たちを相手に講
習や音声教材に携わっています。
彼らと交わっていると、こちらま
で若返った気分になれることが健
康回復にもイイのかなあと感じて
いるこのごろです。

63期 金沢嘉昌

まだまだ元気で働いています。
太極拳、ハーモニカ、合気道が若
さの秘訣です。

63期 角田玲子

2年間と決めた大学の通信教育
も、1月の実習を終了できたら卒

業可能というところまでたどりつ
きました。国家試験受験（精神保
健福祉士）については思案中、完
全退職2年目の年金生活。現役時
代の経済感覚を中心とした生き方
の修正に苦勞しています。

64期 北原巖男

東ティモールから帰国いたしま
した。「日本・東ティモール協会」
設立に取組んでいます。HPをご
覧ください。 <http://www.lorosae.org>

65期 伊藤恭一

定年後、非常勤教員をしていま
す。

65期 上原 昇

2011年11月27日、同期の小
山雅堂君が逝去しました。小山君
は上海に在住しながら、会報広告
出稿や同窓会への協力を惜しまま

せんでした。大変残念な思いです。

65期 柳沢賢次

古事記、日本書紀は現代の学者
や研究者にとつて難しすぎること
を、主に『信濃』に発表していま
す。古代日本には独自の伝達（表
示）方法があり、文中からそれに
気付き解読しなければならな
いからです。

66期 大沢忠夫

月々金は学生と野菜づくりを楽
しんでいます。土・日は仲間と石
窯と農園で遊んでいます。

66期 清水通男

年を取るほど忙しくなっている
ように感じています。何より健康
第一です。夜型になってしまい、
反省しております。

66期 竹内豊和

昨年10月22日、66期3組の同級
会を3年ぶりに今回は東京で開
催。3次会まで流れても話が尽き
ず、再会を約して散会しました。

66期 柳澤公雄

新年会当日は勤務先（船橋市中
央図書館）で中学生のキャリア体
験（職場体験学習）の相手をして
いるので、遅れるかもしれません。

67期 山下一雄

先日、テニス仲間のご主人が2
年後輩の同窓生であることを知
り、びっくり。六文銭の縁の糸を
感じました。

71期 高木 繁

2011年12月25日付にて、
経済産業省に復帰しました（2
年間プラザー工業業に向向）。

72期 依田昌樹

日本将棋連盟のアマ五段をと
り、仕事以外のいい趣味となっ
ております。同期の中島俊哉氏
が2011年10月、疾患のため
急逝されました。心よりお悔や
み申し上げます。

72期 矢島基美

あいにくと当日の時間帯は勤
務先の仕事（授業）と重なり出
席することができません。

72期 保屋野初子

夏にお便りいただき、同窓会
活動への参加うながされまし
た。学位論文にとりこんでいた
ため、返信できずにおりました。

75期 渡辺聡明

4月より東京大学外科教授
で、東大病院に戻ることに
なりました。

85期 近藤弘司

税理士試験に合格しました。
将来は独立開業したいと思っ
ております。

103期 大谷真宙

社会人2年目となる年、更に
学び仕事を通して社会に貢献で
きるように力を蓄えてまいり
たいです。

編集後記

「うえだ人」に登場する
最高裁判事の山浦善樹さ
んから「大学時代、ほとん
ど授業に出なかった」と
聞いて、昔の思い出がよ
みがえった。私もあまり

授業に出なかったが、バイトに忙殺
された山浦さんとは違い、ジャズに
のめり込んでいたからだ。▼所属し
たバンドは「早大ハイソサエティ！
オーケストラ」。大学対抗バンド合
戦で優勝し、米西部海岸を演奏旅行
で縦断したこともある。ジャズに夢
中になり過ぎ、同期の部員11人のう
ち5人が大学を中退した。▼2年生
の時、早大闘争が発生した。新聞学
科の仲間と徹夜の議論を続け、大学
近くの私の下宿は「梁山泊」のよう
な状況に。デモに参加して警察に捕
まり、留置所で2日間過ごしたこと
もある。▼その後、共同通信に入り、
外信記者として海外で計10年暮ら
した。ブリュッセルに赴任する直前、
就労ビザ取得に必要な「無犯罪証明
書」をもらいに千葉県警に行ったら、
係官が「真山さんは以前、警察の厄
介になったことがありますね」。一
瞬、赴任中止の光景が脳裏をよぎっ
たが、ひと呼吸おいて、彼はこう続
けた。「警察の記録には残っていま
すが、それはこの証明書には記載さ
れていません」
真山隆夫



最高裁判事に就任した山浦善樹さん (63期)



神田の事務所で庶民のもめ事を解決してきた「マチベン」(街の弁護士)が一転して最高裁判所の判事に就任した。弁護士会の要職の経験もなく、著名な事件を担当したこともないマチベンの起用は異例の人事。司法研修所教官や法科大学院教授など幅広い分野での活躍が評価されたようだ。「自分の評価を試す気持ちで立候補したんですが、選ばれるとは思っていませんでした。事務所の顧客からも『先生が選ばれることは絶対はない』と太鼓判を押されていましたよ」と笑う。

旧丸子町出身。中学校の成績はトップだったが、家が貧しいため、卒業後は信用金庫に勤めるつもりだった。びっくりした担任の先生から育英会奨学金の受給を勧められ、上田高校の門をくぐる。

高校時代は新聞班で活躍。新聞作りが大好きな仲間と一緒に、月1回のタブロイド判と週1回のガリ版刷りを発行。「経費は新聞の販売と広告費で調達。生徒会

から金をもらっていなかったのは全国でも上田高校ぐらいでした」と振り返る。2年生の後半には生徒会長に選ばれ、松尾祭の開催、長野高校などとの交流拡大に努力した。

自宅は8畳と3畳の2間。夏休みや春休みには毎日、近くの禅寺「全芳院」に通って夜遅くまで勉強。教育熱心な和尚が寺の一室を勉強部屋として提供してくれた。

大学は一橋大学法学部へ。だが、授業にはほとんど出ず、生活費を稼ぐためのアルバイトに明け暮れる。「アイスクリーム工場で2カ月間、立川の米軍基地の引越し屋で半年間働くなど、とにかく手当たり次第、仕事をしました」

高校で同級生だった妻の成子さん(旧姓三嶋)との交際が始まったのは、そんな時。「神戸女子薬科大学に入学した彼女が北海道旅行に行く途中、東京で一泊して大学の寮に電話してきたんです」。文通を重ねる遠距離恋愛が続き、卒業後、東京の中華そば屋の2階で挙式した。「出席者は7-8人。こぢんまりとした式で、新郎の私が司会を務めました」

三菱銀行(現三菱東京UFJ銀行)に就職したが、保守的な社風が肌に合わず1年で退職した。にわか勉強で司法試験に挑戦し1年で合格。有頂天になって全芳院の和尚に報告すると「お気の毒に」と言われた。「喜んでもらえると思って



東京・千代田区にある最高裁判所

いたので、意味がわからず、頭が真っ白になりました」

阿部三郎元日弁連会長の法律事務所で10年間「イソベン」(雇われ弁護士)として働いた後、池袋に小さな事務所を構えて独立。家庭内暴力に悩む女性や障害者など弱い立場の人々の依頼を解決する中で、禅問答のような和尚の言葉の真意に気づいた。「弁護士は社会の公器。無医村の医者だった妻の父のように、自分のためではなく、不幸な人のために生きなさい、と言いたかったのでしょうか」

3月1日から「法の番人」の任務が始まった。だが、マチベンで培った庶民の目線は一向に変わらない。「企業が持っている情報量は一市民が持っている情報より圧倒的に多い。飛車角落ちの将棋では真の実力が判定できないように、法による正義を実現するためには、当事者に実質的な『武器対等』を実現することが必要です」。温かな顔が一瞬、キリリと引き締まった。



7年ぶりに女性同窓会開催へ

7年ぶりの女性同窓会を10月に東京で開催します。多数の皆さんのご参加をお待ちしています。

前は2005年にパレスホテルで開かれ、35人が参加しました。今回も皆さんのご協力により、楽しい集いとなるよう願っています。

日時：10月27日(土)

場所：東京ミッドタウン内のレストラン「ポタニカ」(予定)

会費：5,000円

ご関心のある方は同封した総会出欠の返信ハガキでお知らせください。後ほど詳細をご案内します。